

2023年度 事業報告書

2023（令和5）年4月1日

～

2024（令和6）年3月31日

公益社団法人 札幌聴覚障害者協会

〒060-0042 札幌市中央区大通西19丁目1-358

札幌市視聴覚障がい者情報センター内

TEL : 011-642-8010 ・ FAX : 011-642-8377

メール : houjinjimukyoku@sadeaf.jp

【2023年度事業実施報告】

(法人の目的と事業活動)

当法人は、聴覚障害者に対する社会一般の認識を深め、その社会参加を促進するため、聴覚障害者の福祉の増進に関する事業を行ない、もって社会福祉の発展に寄与することを目的とし、定款に掲げる次の事業を実施しました。

- (1) 聴覚障害者の福祉向上に関する事業
- (2) 聴覚障害者の生活相談及び生活支援に関する事業
- (3) 聴覚障害者の社会啓発運動に関する事業
- (4) 聴覚障害者の広報・啓発に関する事業
- (5) 聴覚障害者の福祉の増進のための調査及び研究に関する事業
- (6) 聴覚障害者の文化教養・スポーツに関する事業
- (7) 手話通訳者養成事業
- (8) 手話通訳者派遣事業
- (9) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害者福祉サービス事業
- (10) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく地域活動支援センター事業
- (11) 介護保険法に基づく地域密着型サービス事業及び地域密着型介護予防サービス事業
- (12) 介護保険法に基づく介護予防・日常生活支援総合事業
- (13) サービス付き高齢者向け住宅事業
- (14) 聴覚障害者の厚生福利及び相互親睦に関する事業
- (15) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

(事業面の特徴的なこと)

1. コロナウイルスによる感染は収まっている状況ですが、単発的に感染が発生しているため、全事業所で引き続き感染防止を図っていきます。
2. 職員の確保、資質向上、待遇面の改善、利用者の確保は全事業を円滑に進めるための大事な取り組みです。
 - ① 人材確保は、事業説明会を開催し確保に努めています。
 - ② 資質向上は研修会の開催、研修会への参加派遣などを通じて向上に努めています。
 - ③ 待遇面は必要に応じて見直しを図っています。
 - ④ 安定運営のための利用者確保も各事業所で努力をしています。
 - ⑤ 聴覚障がい者支援センターほほえみ後援会による支援も事業運営の

支えになっています。

3. 聴覚障がい児童分野の事業は、市内にある既存の聴覚障がい児・生徒を対象とする事業所との連携を必要に応じて図っていきます。
4. コロナ禍の減収を乗り切るために借り入れた資金の返済は滞りなくおこなわれています。
5. 会議や研修、行事などで対面とオンラインによる方法が普及、定着してきました。デジタル社会の進展に伴い情報通信機器の整備、職員の利用習熟の課題に取り組みながら併用していきます。
6. 詳細な報告は、各事業の報告に委ねます。

(運動面の特徴的なこと)

情報通信機器（スマホ、パソコンなど）の普及、携帯化で情報が簡単に入手できるようになっています。それぞれの事業や運動経過をホームページで確認し、活動や学習に活用していきましょう。

1. 一般財団法人全日本ろうあ連盟 <https://www.jfd.or.jp/>
 - ① みんなのデフリンピック、デフスポーツ・サポーター募集、持続可能な開発目標（SDGs）に対する取り組み、聴覚障害者災害救援基金、全国ろうあ者大会、JFDカード普及など運動と私たちの社会的課題への取り組みが掲載されています。
2. 公益社団法人北海道ろうあ連盟 <https://hokuroren.jp/>
 - ① 連盟の運動、事業の取り組み（行事案内、手話通訳養成講座、出版・販売、お問い合わせ、手話カレンダー普及など）が掲載されています。
 - ② 聴覚障害者情報センターの取り組み（意思疎通支援、手話を学ぶ、情報を知る、地域を支える）が掲載されています。
3. 公益社団法人札幌聴覚障害者協会 <http://sapporo-deaf.jp/>
 - ① 交流、学ぶ、働く、手話通訳、暮らす、知る、の各分野に関する情報（協会について、事業所一覧、手話・字幕入り映像資料の貸出、書籍・グッズ販売、職員募集、アクセス、災害について）が掲載されています。
 - ② それぞれご覧になって、感想やご意見、ご要望をお寄せください。

【公益目的事業】

【公1】手話通訳者派遣・手話普及事業

I 手話通訳者の派遣・認定・研修

手話の普及並びに手話通訳者の認定・登録・更新と、聴覚障害者に対する理解を深め、聴覚障害者と聞こえる人の円滑なコミュニケーションを目的とし、依頼に応じて手話通訳者を派遣した。

1. 手話通訳者派遣事業の実施（札幌市委託事業）

ろう者等と聞こえる人との意思の疎通を円滑にするため、手話通訳者を必要とする場合に派遣した。

期 間：2023年4月～2024年3月（年間）

場 所：原則として札幌市内

受 付：手話通訳者派遣室

（1）派遣事業の実績及び近況報告 4,857件+1,907件 = 総件数 6,764件

年度	2022年度 4,664件					2023年度 4,496件							
	区分	依頼 件数	派遣件数			派 遣 時 間	依頼 件数	派遣件数			派 遣 時 間	取り 消し	確保 不可
計			専通	登通	計			専通	登通				
医療・ 保健	3,850	3,319	1,329	1,990	4170 :29	3,775	3,294	1,434	1,860	4145 :29	385	176	
(内、介護 保険)	508	410	204	206	369: 00	473	412	221	191	334: 25	42	25	
司法	45	35	33	2	38: 15	65	67	58	9	84: 10	15	2	
教育・ 保育	151	137	67	70	161: 25	126	128	61	67	176 :30	17	10	
労働・ 雇用	104	101	49	52	142: 45	123	118	57	61	144 :50	15	11	
地域・ 住宅	60	69	13	56	92: 35	45	61	7	54	84: 35	4	1	
人間 関係	29	25	10	15	52: 25	8	6	4	2	9: 25	2	0	
文化・ 教養	104	170	73	97	410: 47	65	114	35	79	287 :30	11	4	
社会 生活	348	369	195	174	607: 05	343	332	202	130	431 :00	58	34	
その他	373	439	436	3	242: 40	307	376	372	4	206 :40	1	3	
(来所者)	303	303	303			272	272	272					
(電話通訳)	401	401	401			348	348	348					
(TV電話)	160	160	160			97	97	97					
(FAX対応他)	179	179	179			127	127	127					
合 計	5,064	4,664	2,205	2,459	5918 :26	4,857	4,496	2,230	2,266	5570 :09	508	241	

※介護保険の内容：認定調査・ケアマネージャーモニタリング・訪問看護・

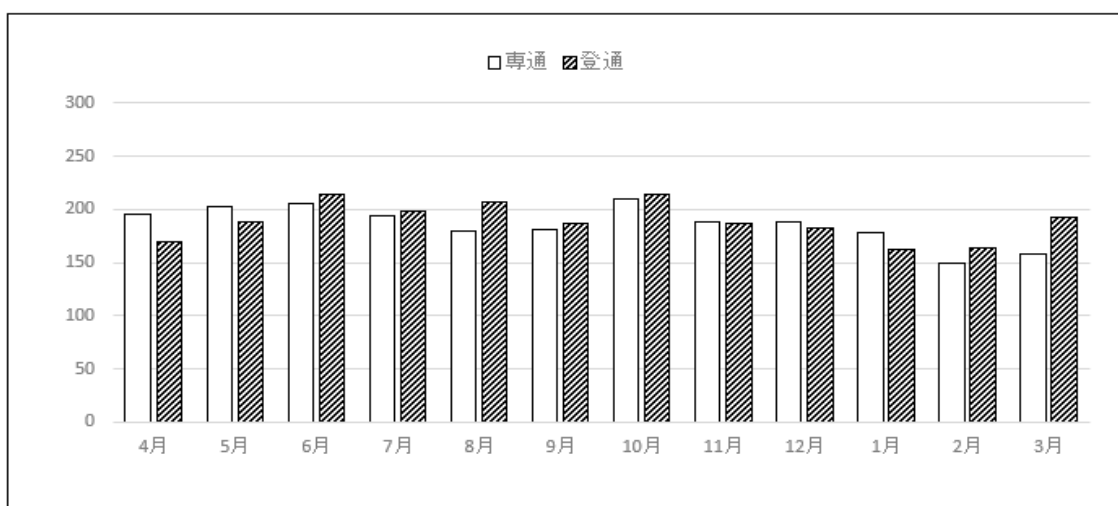
往診・担当者会議 他

※「その他」は来所対応が15分を超えた時には、依頼件数に含めている。それ以外は下記の通り。

※別表参照

区分	来所者	電話通訳	TV電話	FAX対応他	合計
2022年度	559	292	711	622	2,184
2023年度	532	180	550	645	1,907

(2) 毎月の派遣件数の比較（専従手話通訳者&登録手話通訳者）



(3) 札幌市手話通訳者状況報告（2024年3月31日現在）

専従手話通訳者 9名 登録手話通訳者 63名

※資格取得状況（専通・登通含む）

手話通訳士 32名 統一試験（手話通訳者）40名

【手話通訳者養成等運営会議（派遣）】

- (1) 新型コロナウイルス感染症の位置づけは、5月8日から「5類感染症」に移行され、派遣事業としては、感染者対象の通訳派遣はなく、ワクチン接種の申請の派遣が多く、集団接種会場は人数制限もあり会場により判断も違ったが、高齢ろう者等の場合は、かかりつけの病院での接種が安心であるようだった。
- (2) 遠隔手話通訳方式（3年目）は、2022年度と違い2023年度はコロナ感染者の利用はなく、主な利用としては、施設入居者への支援として期間を確認しながら貸出し、入院（手術）に伴い、患者の精神的な面も配慮し病室内にタブレット端末を置き、医師の回診やスタッフ等の必要時の通訳・学校の個人懇談・会議等にも対応した。件数は32件として微増であった。また、他では市内には16ヶ所にコミュニケーション支援システムタブレットの配置、職場のパソコンを利用した遠隔手話通訳も申請時に相談が増えてきており対応している。市外、道外での通訳保障も2022年度は3件であったが、2023年度は急増して25件であった。
- (3) 司法分野では、刑事訴訟に係る法律相談や専門機関への派遣や、財産相続・成年後見制度では弁護士や司法書士との連携をとり、ろう者や手話についての理解を求めたりした結果、専門機関への働きかけも実施でき

た面もあるが、社会的にまだまだ専門機関を利用しにくい面もあり、日々啓発が必要と考える。

- (4) 電話リレーサービス事業（総務省）も2年目となり、利用しているろう者は14名であり、通訳申請や派遣事業への問い合わせが多い。オペレーターの手話技術も関係あるが、内容の把握に時間を要する。また、来所者の電話通訳として企業等問い合わせをした時には、「電話リレーサービスであれば対応する」と断られることもあり課題である。ろう者が主体的に連絡手段が選択できるように働きかけが重要である。
- (5) 旧優生保護法被害者弁護団が2018年度から札幌地方裁判所に交渉した結果、裁判傍聴については手話通訳保障をしており、現在は、6月新たに80代男性の提訴があり、一審にて1事件が新たに審議中となり継続しての対応をしている。また、高等裁判所の判決後は敗訴1件、勝訴1件であったが、国が上告したこともあり、2024年5月には最高裁判所大法廷にて最終判断が予定されている。
- (6) コーディネート業務は、申請内容を把握してろう者の理解力等を配慮して関係機関との連携を図り、ろう者が安心して暮らしていけるように、社会資源を作ることも重要な役割である。そのためには、記録、日々の業務の整理をするためには、社会福祉援助技術等の専門性に学び、社会的な視点を広げていくことが求められる。

2. 手話通訳者認定・登録・更新の実施

(1) 一次試験（手話通訳者全国統一試験）の実施

手話通訳者として必要な知識及び技能を審査するため、筆記及び実技試験の問題・採点基準及び具体的実施方法などについて、全国手話研修センターから提供を受け、手話通訳者全国統一試験を実施した。

期 日：2023年12月2日（土）

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：2021年度以前の手話通訳者養成課程修了者、2022年度手話通訳者養成講座受講生修了見込者、2023年度手話通訳者養成講座受講生（再受講生）または、手話通訳者養成課程修了者と同等の知識及び技術を有する者

※合格発表：2024年3月1日（金）

(2) 二次試験（面接試験）

札幌市登録手話通訳者を認定するための面接試験を実施

期 日：2024年3月9日（土）

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：2023年度一次試験（手話通訳者全国統一試験）合格者及び手話通訳者全国統一試験又は手話通訳士試験の合格者

<登録申込状況>

（単位：名）

区 分	2023年度合格者	市外より転入	在札有資格者
統一試験	6	0	0
手話通訳士	0	0	0
合 計	6	0	0

<受験者及び合格者状況>

(単位：名)

区分	2022年度				区分	2023年度			
	申込者数	受験者数	合格者数	合格率		申込者数	受験者数	合格者数	合格率
2022年度 養成講座受講生	1	1	0	0%	2023年度 養成講座受講生	1	1	0	0%
2021年度 養成講座修了者	5	4	1	25%	2022年度 養成講座修了者	13	11	1	9%
2020年度以前 養成講座修了者	12	9	1	11%	2021年度以前 養成講座修了者	12	12	5	42%
その他	1	1	0	0%	その他	0	0	0	0%
合計	19	15	2	13%	合計	26	24	6	25%

(3) 登録手話通訳者状況 (2024年3月31日現在)

(単位：名)

項目	年度		
	2021	2022	2023
登録手話通訳者数	53	62	63
常勤・非常勤の仕事あり	33	38	39
通訳者自身の病気療養（育児・家族の介護）あり	26	24	23
平日の日中活動可能	12	10	12

【手話通訳者養成等運営会議（派遣）】

- (1) 登通63名中、長期活動休止者（約25名）の理由としては、仕事・子育て・親の介護等であった。意思疎通支援活動だけでなく、ハローワーク手話協力員・勤医協札幌病院の代替手話通訳者・要約筆記通訳者・盲ろう者通訳介助員・電話リレーサービスの通訳オペレーター・手話普及事業の講師活動も含めると、兼務する登録手話通訳者も増えてきており、日常の派遣申請は昼間のニーズも多く、派遣通訳者の確保が厳しい状況にある。
- (2) 感染症（新型コロナウイルス・インフルエンザ）の予防対策としては、特に医療機関はマスクを重視しており、通訳時も透明マスク着用をするようにし、徐々に緩和されてきたが、通訳者の選定に配慮している。
- (3) 電話リレーサービス事業は当協会も実施しており、手話通訳行為や通訳技術に関しては情報を共有するために、研修会に同席したり、定期ミーティングをするようにした。

3. 札幌市・札幌協手話通訳者現任研修会の開催

2015年度から、札幌市手話通訳者と札幌協手話通訳者合同の現任研修会とし、手話通訳者の資質・技術の向上及び情報交換などを行なうため研修会を開催した。

期 間：2023年4月～2024年3月（全27回） 内訳 市のみ（新登録手話通訳者対象3回）協会のみ（研修4回、自主研3回）を含む。

会 場：市視聴覚障がい者情報センター、市社会福祉総合センター

対象者：札幌市専従手話通訳者・札幌市登録手話通訳者・札幌協登録手話通訳者

講 師：基本的には専通が担当。

(内、◆合同(市・札幌協)の研修、◇札幌協のみの研修)

研 修 内 容	月 日	出席者数
1) 札幌市・札幌協手話通訳者派遣事業に関する説明会 ◆	2023年 4月3日	46名
2) 手話通訳に必要な現場対応力を考える ◆	5月11日	23名
3) 事例研修①② ◆	6月29日 30日	13名 14名
4) ロールプレイ①②・ロールプレイ&模擬通訳学習 ◆	7月27日 8月8日	9名 21名
5) 登録手話通訳者懇談会 …札幌市&札幌協理事	8月29日	19名
6) 技術研修 ◇	9月15日	4名
7) 事例研修③④ ◆	9月22日 25日	14名 14名
8) 特別現任研修会 『聴覚障害者の精神保健福祉を考える研修会2021』 ～聴覚障害者の精神科医療診断・福祉等現場からのレポートに学ぶ～	10月7日	21名
9) ロールプレイ①②・ロールプレイ&模擬通訳学習 ◆	11月20日 21日	9名 17名
10) 手話通訳技術①② …聞き取り・読み取り技術 ◆	1月11日 12日	12名 13名
11) 専従手話通訳者による出張報告 ◆	2月8日	24名
12) 健康学習会 講師:札幌ワーカーズクリニック 佐藤修二氏	2月16日	14名
13) 講演「企業と手話コミュニケーション」 ※一般公開 講師:豊橋技術科学大学特任教授 加藤三保子氏 ◇	3月2日	33名
14) 司法研修① ※一般公開 ◇ 講師:甲南大学特別客員教授 渡辺顥修氏	3月9日	40名
15) 司法研修② ※手話通訳者のみ対象(道内専通含む) ◇ 講師:甲南大学特別客員教授 渡辺顥修氏	3月10日	23名
16) 「2022年度 統一試験に挑戦しよう！」 ◆	3月25日昼 3月25日夜	中止 40名

2023年度 コミュニケーション支援課 出張一覧

研 修 内 容	人 数	月 日
1) 2023年度 意思疎通支援担当者研修会 香川県高松市	1名	7月27～28日
2) 聴覚障害者の精神保健福祉を考える研修会2023 (リモート) ～アウトリーチによる支援の意義と方法～	1日目のみ2名	8月19～20日
3) 第56回全国手話通訳問題研究集会 ～サマーフォーラムinとくしま～	2名	8月18～20日
4) 第49回全道ろうあ者相談員・第46回全道専任手話通訳者研修会	4名	10月12～13日
5) 2023年度 手話奉仕員・手話通訳者養成担当講師ブロック研修会 【北海道】(札幌市) 奉仕員課程 1名 通訳者課程 1名		12月3日

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

- (1) 2023年度の現任研修会は、新型コロナウイルス感染症が5類になったこともあり、年間計画通り実施した。特に、外部講師を招いての研修会は、司法研修が講師の都合で日程変更となり、2～3月に研修会が集中した。また、コロナ禍で実施できていなかった、ろうあ者相談員と共催の「2021年度精神保健福祉研修会」における提出レポートに関する発表を10月に実施した。急遽の周知であったが21名の参加があり、改めてろうあ者が受けた差別・待遇の問題・人権について考える機会となった。
- (2) 市登録手話通訳者懇談会は、2023年度に3年ぶりの開催となった。市側との貴重な意見交換の場であるが、登録手話通訳者の参加は全体の3分の1程度であった。市からの要望により参加者全員が発言をし、主に通訳者の育成についての不安、通訳者の待遇改善、昨今のバス減便等による交通手段の不便さの現状を伝えた。
- (3) 健康学習会は、勤医協札幌病院医師若葉金三氏の退職により、札幌ワーカーズクリニックの佐藤修二院長へ依頼し、日程調整の結果、2月に実施することができた。日程調整や実施企画については、計画的に進める必要があった。

4. 札幌市登録手話通訳者認定証授与式他・新登録手話通訳者研修会の開催

登録手話通訳者認定証授与式、後日、オリエンテーションを開催して札幌市登録手話通訳者派遣事業実施要綱や派遣事業におけるコーディネート業務の内容、事務処理等について、配付資料を基にして説明を実施した。

新人研修会も、コロナ禍前同様、「報告書の書き方」「模擬通訳」「通訳経験交流」の3回とも実施した。

期 間：2023年4月～2023年5月

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：2023年度札幌市登録手話通訳者に認定された者

(1) 新登録手話通訳者状況

区 分	2022年度 一次試験合格者	市外より転入	有 資 格 者	合 計
新登録者数	2名	0名	1名	3名

(2) 研修会等の内容及び日程

研修内容	月日
認定証授与式 / 札幌市・札幌協手話通訳者派遣事業説明会	4月3日
研修会1) 新登通オリエンテーション 「報告書の書き方」…通訳行為の振り返り等の確認と意見交換	4月14日
研修会2) 「模擬通訳」	4月17日
研修会3) 「通訳経験交流」	5月26日

(3) 手話通訳者状況報告 (2024年3月31日現在) (単位：名)

	2021年度	2022年度	2023年度
専従手話通訳者	10	9	9
登録手話通訳者	53	62	63
(内、当該年度養成講座修了者)	(1)	(2)	(1)

5. 札幌市手話通訳者の頸肩腕症候群等を防止する健診の実施

期 間：2023年4月～9月／2024年2月～3月

場 所：札幌ワーカーズクリニック

対象者：登録手話通訳者(1回)・専従手話通訳者(年2回)

(1) 登録手話通訳者受診状況

健診対象者	62名	受診者数	54名	受診しない数	8名
-------	-----	------	-----	--------	----

※内、他で受診13名（電話リレー11名、北ろう連1名、市立病院1名）

(2) 登録手話通訳者診断結果

A (異常なし)	16名	C 1 (要受診)	0名
B 1 (要観察)	34名	C 2 (要受診・業務対策)	0名
B 2 (要注意)	4名		

(3) 専従手話通訳者診断結果 (9月・10名・2月・9名)

	9月	2月		9月	2月
A (異常なし)	2名	4名	C 1 (要受診)	0名	0名
B 1 (要観察)	8名	5名	C 2 (要受診・業務対策)	0名	0名
B 2 (要注意)	0名	0名			

【手話通訳者養成等運営会議（派遣）】

- (1) 登録手話通訳者の特殊健康診断結果は、全体的に改善（A 16名中10名）されて、落ち着いている。通訳稼働は休止状態であるが、自己の体調を把握するために、14名に受けていただいた。専従手話通訳者については、派遣件数が多く多忙でありつつもA（異常なし）判定は4名であった。
- (2) 2022年度以降、健康学習会も担当医師との調整ができず、日常のコーディネート業務に活かしていくのが十分ではなかったと考える。2023年度は、札幌ワーカーズクリニックは専門の労災患者が多く、健診結果後の医師との面談はできなかったが、学習会は、講師としてお願いして具体的に体調も含めて意見交換することができた。

6. 医療手話通訳者派遣事業の実施（勤医協札幌病院委託事業）

専任手話通訳者を勤医協札幌病院へ派遣し、外来診察及び入院治療等を受けているろう患者と、医師及び看護師・院内スタッフとのコミュニケーションの円滑化のため手話通訳業務を行なった。

期 間：2023年4月～2024年3月（年間）

業務時間：月・火・水・木・金 9時～12時30分、13時30分～15時

第1・3土曜日 9時～12時30分

場 所：勤医協札幌病院

手話通訳者：専任手話通訳者3名(8月から2名)・代替手話通訳者9名

(1) 実績及び状況報告

① 来院者数及び住居区数 (月別)

(単位：名)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来院実数	60	75	85	68	61	67	96	89	67	60	56	48	832
白石区	10	14	14	8	14	10	19	16	17	15	13	9	159
厚別区	8	10	11	6	7	11	12	12	7	8	5	6	103
東区	21	18	26	25	24	19	22	19	18	15	14	13	234
豊平区	4	16	16	9	9	11	17	19	11	8	9	7	136
北区	8	8	7	7	3	3	11	9	7	6	9	4	82
西区	2	6	7	2	0	5	7	5	5	3	1	3	46
南区	0	0	1	3	3	1	1	2	0	0	0	1	12
中央区	1	2	2	2	0	4	2	4	0	1	2	4	24
手稲区	1	0	1	0	1	2	0	2	1	0	2	0	10
清田区	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
札幌市外	5	1	0	6	0	1	4	1	1	4	1	1	25

② 患者及び新患者の状況

(単位：名)

患者数	60	75	85	68	61	67	96	89	67	60	56	48	832
内、新患者数	0	1	1	1	0	0	0	2	1	0	0	1	7

③ 来院者数状況 (年間)

(単位：名)

区分	2022年度			2023年度		
	来院者数	(内、来院患者数)	(内、新患者数)	来院者数	(内、来院患者数)	(内、新患者数)
通訳件数	626	615	11	584	577	7

④ 年代及び性別の状況

(単位：名)

区分	19才以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80才以上	非該当	合計
男性	0	2	1	27	36	44	144	78		332
女性	0	1	5	36	65	96	212	75		490
非該当									10	
合計	0	3	6	63	101	140	356	153	10	832

⑤ 来院者の受診科他別状況 (年間)

(単位：件)

受診科	通訳件数	受診科	通訳件数	受診科	通訳件数	合計
内科	384	眼科	208	手術	2	
整形外科	60	外科	20	検査	42	
耳鼻科	47	健診	78	その他	246	
産婦人科	24	ワクチン	38	(内、電話通訳)	4	
小児科	6			(内、受付等通訳)	42	
						1155

⑥ 入院患者数及び受診科別状況 (年間)

(単位：件)

区分	入院患者数	通訳件数				合計
		手術	病棟	病棟外診察	その他	
件数	2	2	13	1	2	18

- ⑦ コロナワクチン接種の件数が減少したことで、2022年度と比較すると通訳件数・来院患者数ともに減っている。
- ⑧ 内科は、医師体制の都合で土曜日は11月・平日は1月から予約のみの対応になった。

(2) 体制

4月～7月

	月	火	水	木	金	第1土	第3土
A	9:00～15:00	9:00～15:00	9:00～15:00	9:00～12:30	9:00～15:00	休	9:00～12:30
B	9:00～12:00	休	休	9:00～15:00	9:00～15:00	9:00～12:30	休
C	10:30～15:00	10:30～15:00	9:00～15:00	休	休	休	休

- ① 体制強化のため2023年4月から新体制となった。
- ② 専任手話通訳者の欠員状態は変わらない。

8月～3月

	月	火	水	木	金	第1土	第3土
A	9:00～15:00	9:00～15:00	9:00～15:00	9:00～12:30	9:00～15:00	休	9:00～12:30
B	9:00～12:00	休	休	9:00～15:00	9:00～15:00	9:00～12:30	休

- ③ 7月末で専任手話通訳者1名退職
一人体制の時間が増え、代替登録手話通訳者の協力を得ている。
- ④ 4月からは7名、8月以降は9名の代替手話通訳者が登録している。しかし、仕事や他の活動・体調や家庭の都合等で稼働できる人が限られ確保が難しかった。
- ⑤ また、4月から1名、8月から2名の代替手話通訳者に研修を行っている。代替依頼件数152件の内、研修が77件と多く業務の負担が大きかった。
- ⑥ 新型コロナウイルスワクチン接種関連対応件数
案内・予約・問い合わせ等 → 59件
接種 → 28件

(3) その他

- ① 新入職員オリエンテーション (4月4日) → 西澤
- ② 勤医協札幌病院との懇談 (4月20日, 7月20日, 1月18日) → 笹森
- ③ 聴覚障害者の精神保健福祉を考える研修会 ZOOM (8月19日) → 西澤
- ④ 全道ろうあ者相談員・専任手話通訳者研修会 (10月12～13日)
→ 業務優先のため欠席
- ⑤ 札幌聴覚障害者協会との事務局会議 (2月8日) → 西澤・笹森
- ⑥ パソコン入れ替え 1台 (2月15日)

7. 札幌聴覚障害者協会手話通訳者派遣事業の実施 (独自事業)

札幌市手話通訳者派遣事業実施要綱に適用しない行政、企業、司法機関、団体等からの依頼に基づき、手話通訳者を派遣した。

期 間：2023年4月～2024年3月 (年間)

場 所：札幌市内及び近郊

受 付：手話通訳者派遣室

(1) 派遣事業の実績及び近況報告

年度 区分	2022年度					2023年度						
	依頼 件数	派遣件数			派遣 時間	依頼 件数	派遣件数			派遣 時間	取り 消し	確保 不可
		計	専通	登通			計	専通	登通			
企 業	18	22	16	6	35:30	29	33	21	12	54:20	8	1
司 法	10	15	13	2	33:45	69	116	100	16	241:30	2	7
内 弁護士	1	1	1	0	2:50	16	15	15	0	13:05	0	1
内 警察署	5	8	7	1	16:30	24	52	37	15	144:10	2	2
内 検察庁	1	2	1	1	3:20	19	32	31	1	58:15	0	4
内 裁判所	3	4	4	0	11:05	10	17	17	0	26:00	0	0
内 刑務所	0	0	0	0	0:00	0	0	0	0	0:00	0	0
各種集会関係	107	194	57	137	478:10	121	210	63	147	522:10	13	0
内 社会生活教 室	21	42	1	41	88:55	23	46	2	44	102:30	0	0
大 学	1	0	0	0	0:00	0	0	0	0	0:00	0	0
組 合	21	35	10	25	94:10	31	56	12	44	141:15	0	0
政 党	15	27	10	17	48:05	7	12	5	7	14:35	0	0
放 送 局	39	58	55	3	73:50	40	69	62	7	85:05	2	0
そ の 他	46	83	77	6	127:10	69	93	76	17	123:20	11	4
合 計	257	434	238	196	890:44	366	589	339	250	1,182:15	36	12

(2) 派遣分野の状況報告

- ①2023年度は司法関連の申請が急増、2022年度と比較して約8倍の派遣数となる。札幌市内のみだけでなく、広域派遣(2か所)申請もあり、時間外(土日・夜間)派遣も必要となった。翌日や当日依頼等、急を要する内容が大半であった。刑事訴訟は、捜査機関(警察・検察庁)、裁判所、また、接見時の弁護士の対応等、申請が重複することもあり派遣調整が難しい状況であった。
- ②成人の日行事は、2022年度に引き続き、通訳予算を組んで全区に派遣を行うことになった(一区のみ2部制、11名派遣)。
- ③新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことに伴い、各種集会関係がリモートのみの開催ではなく参集型との併用で開催されることが増加。近年は、当日のライブ配信(Youtube等)やアーカイブ配信など映像データが残る場合があり、派遣する手話通訳者が限定される。
- ④市長記者会見は定例19回、臨時4回であり、2022年度と比較して計3回増加。1か月で平均2回の派遣、市長記者会見での課題を集約して、市広報課とよりよい手話通訳環境を確保するために協議が必要であったと感じた。
- ⑤札幌LGBTQ映画祭への派遣申請、社会情勢の影響が申請に反映されている。現在、同性婚訴訟についての裁判も行われており今後の派遣申請にも表れてくるのではないかと考える。
- ⑥札幌2030冬季オリンピック・パラリンピック招致活動を停止したことに伴い、2023年度後半は関連した集会やイベントが開催されなくなった。デフスポーツ関連の申請数については大幅な増減はない。
- ⑦ STVの年間契約以外での派遣申請あり(計3回) 特集VTRの映像収録・24時

間テレビVTR特集及び編集、他の放送局からは収録した動画の手話表現内容をチェックするための申請があった。

(3) 手話通訳者状況報告 (2024年3月31日現在) (単位：名)

	2021年度	2022年度	2023年度
専従手話通訳者	10	9	9
登録手話通訳者	89	90	93
(内、市登録手話通訳者)	(58)	(53)	(63)
(内、当該年度養成講座修了者)	(3)	(3)	(5)

8. 札幌聴覚障害者協会手話通訳者現任研修会の開催

市手話通訳者と札幌協手話通訳者合同現任研修会（2015年度開始）とし、手話通訳者の資質・技術の向上及び情報交換等を行なうため開催した。

期 間：2023年4月～2024年3月（年間22回）

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：札幌聴覚障害者協会登録手話通訳者

(札幌市派遣事業と合同の現任研修は【公1】手話通訳者派遣・手話普及事業に記載)

研修内容	月 日	出席者数	
		登通	専通
1) 技術研修 ・場面通訳	9月15日	4名	2名
2) 講演「企業と手話コミュニケーション」 講師：豊橋技術科学大学特任教授 加藤三保子氏	2024年 3月2日	30名	3名
3) 司法研修 講師：甲南大学特別客員教授 渡辺顛修氏	3月9日	36名	4名
4) 司法研修 講師：甲南大学特別客員教授 渡辺顛修氏	3月10日	19名	4名

(自主研修のため出欠連絡、交通費の支給はない)

手話通訳者会議（自主）	月 日	出席者数	
		登通	専通
1) 通訳場面 医療・教育	6月2日	7名	2名
2) 通訳場面 労働・社会生活	10月17日	7名	2名
3) 通訳場面 講演会・式典	2月2日	3名	2名

(1) 手話通訳者会議

自主研修は、他の研修会と違い事前準備や資料の用意はなく、通訳の経験の長さを問わず参加者が当日、現場で困ったことや不安を持ち寄り、率直に話したり、意見交換や情報共有の場としている。年3回の実施だが、もっと活用してもらえるようにすすめていきたい。

(2) 司法場面における手話通訳者研修

司法研修会は、リモートを活用して担当及び講師間の打合せを行い、準備を進めた。一日目は、講師の一方的な講演ではなく、ハイブリッドを活用して、視覚障害学生（道外）、会場に聴覚障害者（ろう者）、派遣事業の立場で手話通訳者の三者と講師の対話形式とし、障害特性に合わせた対応の違いを学習した。二日目は、手話通訳を業務としている方々の希望者が参加し、実際に「逮捕時」「取り調べ」「国選弁護人の説明」における

模擬通訳を行い、その様子を撮影と振り返りを行い、全道域の通訳者が対象であり、全道に役立つ内容を学習した。

(3) 手話言語に係る専門研修会

今年度『手話はひとつ』というテーマではないが、『企業』における手話コミュニケーションについての理解を深め、手話が言語であることの学習をした。

II 手話通訳者養成講座の開催

1. 2023年度手話通訳者養成事業の開催

手話による日常会話が可能な手話技術を有する市民を対象に、通訳技術の習得及びろう者とのコミュニケーションを図り円滑な社会生活に寄与するため必要な知識の習得を目的に、ろう者に対する理解を深め手話通訳者を目指す者を養成する講座を開催した。

修了条件に含めない特別講座(2回)実施の他、カリキュラム以外で『突破!統一試験学習会』(4回)を手話通訳者全国統一試験(一次試験)の合格を目的として行った。受講生の指導方法については、講師節会議で確認しながら進めている。理論講義は、コロナ禍においてはDVDやリモートを活用してきたが、2023年度は全て対面で実施できた。

期 間：2022年度クラス2年目 2023年4月5日～11月29日(35回)

2023年度クラス1年目 2023年5月17日～2024年3月27日(48回)

回 数：実技72回(内通訳Ⅰ課程32回 通訳Ⅱ課程30回 通訳Ⅲ課程10回)

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

(1) 定員・受講者及び修了者の状況 (単位：名)

	定員	応募者数	受講者数	修了者数	修了率
2020年度	15	16	13	5	38.5%
2021年度	15	13	8	4	50%
2022年度	15	22	15	11	73.3%
2023年度	15	17	13	継続中	継続中

(2) 2022年度クラス(2022～2023年度・2年目)

①通訳Ⅱ課程

月 日	内 容
4月5日～4月19日	第11～13講座 聞き取り通訳
4月21日～26日・5月17日～24日・ 5月31日～6月14日・6月21日～8月2日	第14～27講座 場面通訳・事例検討
8月16日～8月30日	第28～30講座 ロールプレイ

講師：8名(札幌協講師4名 札幌通研講師1名 専通講師3名)

②通訳Ⅲ課程

月 日	内 容
9月6日	第1講座 通訳のやり方・あり方を考えよう
9月13日～9月27日	第2～4講座 事例検討とロールプレイ
10月11日～11月15日	第5～10講座 手話通訳実習1～6

講師：8名(札幌協講師4名 札幌通研講師1名 専通講師3名)

③理論講義 4回

月 日	講義内容	講 師
5月10日	手話通訳の理念と仕事Ⅱ	渋谷 梯子 (専従手話通訳者)
6月16日	聴覚障害児の言語発達とろう教育	宇野 宏之祐 氏 (北海道札幌聾学校教頭)
8月9日	手話通訳者登録制度の概要	渋谷 雄幸 (札幌聴覚障害者協会理事長)
10月4日	手話通訳者の健康管理	佐藤 修二 氏 (札幌ワーカーズクリニック院長)

④2022年度修了時アンケート結果

- ・ ロールプレイがよく理解できなかつた、聞き取り通訳の理解が難しく、自分の表現した手話が通じているのか、予習のイメージができず苦労したという意見があつた。
- ・ 聞き取り通訳は、意味をとらえた表現や空間の使い方を意識するようになったとの意見があつた。読み取り通訳は、徐々に読み取り力が向上した、以前に比べて読み取れるようになった、という意見も複数見られた。これは、再受講者からの意見が多く、1度受講したときには理解できなかったことが、再度受けたことでより理解が深まったという受講生もおり、学習の積み重ねが大事であることがわかる。
- ・ 課題としては、行事の参加等、ろう者との関りを持つこと、手話サークル・通研への入会及び活動、集団に属することの必要性を講座の中でも講師が伝えることを意識している。

(3) 2023年度クラス (2023～2024年度・1年目)

①通訳Ⅰ課程

月 日	内 容
5月17日～6月28日	第1～7講座 基本文法の復習
7月5日	第8講座 手話通訳の現場から学ぼう
7月12日～8月2日	第9～12講座 身近な場面通訳
8月16日～9月1日	第13～16講座 要約
9月6日～10月4日	第17～21講座 読み取り通訳
10月11日～10月18日	第22～23講座 手話を見て要約
10月25日・11月1日～11月22日	第24～28講座 聞き取り通訳
11月29日～2024年1月10日	第29～32講座 場面通訳

②通訳Ⅱ課程

1月17日～1月24日	第1～2講座 話を聞いて要約
2月7日～2月21日	第3～5講座 手話を見て要約
2月28日・3月6日～3月22日	第6～9講座 読み取り通訳
3月27日	第10講座 聞き取り通訳

講師：15名 (札幌協講師8名 札幌通研講師2名 専通講師5名)

③理論講義 6回

月 日	講義内容	講 師
7月7日	身体障害者福祉概論	三上 真治 氏 (市障がい福祉課在宅福祉係職員)
8月9日	手話通訳の心構え	山田 幸雄 (専従手話通訳者)
10月27日	ソーシャルワーク概論	田村 里子 氏 (WITH医療福祉実践研究所)
12月15日	ことばの仕組み (手話)	川口 聖氏 (国立民族学博物館)
2024年1月31日	手話通訳の理念と仕事 I	川口 裕美 (専従手話通訳者)
3月1日	ことばの仕組み	加藤 三保子 氏 (豊橋技術科学大学)

④2023年度通訳 I 課程アンケート結果

- ・ 講座の進み方や教え方は現状で良いとの回答が多く、学習内容についてはよく理解できるとの回答が多かった。
- ・ 講座での学習を通して手話力向上の自覚を問う設問には、「手話が読み取れるようになった」、「スムーズに手話を表現できるようになった」、「手話表現のポイントを意識するようになった」との回答があった。
- ・ トレーニング用に貸し出しているシャドーイング用DVDを活用出来ている受講生の人数は少ないが、効果は感じているとの回答がある。
- ・ 講座以外で手話を使う時間は3時間以上6時間未満という回答が多く、ろう講師以外のろう者との交流を増やす必要性があり、札幌協行事への参加を促し、手話サークルや通研等の団体の情報提供をしている。

2. 手話通訳者養成講座の講師に対する研修及び会議等の実施

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

(1) 2022年度クラス (2022～2023年度・2年目)

手話通訳者養成講座の講師に対する研修及び会議等の実施

①節会議・評価会議・反省会

区分	節会議	評価会議	反省会
通訳Ⅱ課程	4月28日	中止	9月28日
通訳Ⅲ課程	8月10日	12月8日	

※通訳Ⅲ節会議後に、通訳Ⅱ反省会を含めた内容で書面決裁とした。

(2) 2023年度クラス (2023～2024年度・1年目)

- ①4月7日 (金) 事業説明会・選抜試験打ち合わせ会
- ②4月12日 (水) 受講者選考試験・面接試験 (一日目・昼間) ※
- 4月13日 (木) 受講者選考試験・面接試験 (二日目・夜間)
- 4月14日 (金) 受講者選考試験・面接試験 (三日目・昼間)

※通常、二日間の予定だが1名仕事の都合で、急遽日程を別途設けて対応した。

- ③5月30日 (火) 講師研修会「指導のポイント①」
- ④10月31日 (金) 講師研修会「指導のポイント②」
- ⑤節会議・評価会議・反省会

区分	節会議	評価会議	反省会
通訳Ⅰ課程	① 4月24日 ② 8月25日	11月30日※	2024年2月9日
通訳Ⅱ課程	11月30日※	—	—

※通訳Ⅱ課程評価会議後に引き続き通訳Ⅲ課程節会議を実施。

【手話通訳者養成講座講師団】

ろう講師は札幌協、聞こえる講師は札幌研が推薦する者または専通が担当し、調整して進めた。感染症対策には留意（手指消毒・換気等）しながら、実技指導はすべて対面で実施した。なお、全国手話研修センター主催の2023年度手話奉仕員養成担当講師ブロック研修会【北海道】（ウェブ研修+zoom研修）には、ろう講師2名と聞こえる講師2名を出張とし、講師研修会にて報告・情報共有を行った。

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

- (1) 新型コロナウイルス感染症の5類への移行により、各種講座ではリモートの活用は不要となり、すべて対面での講座を実施できた。但し、基本的感染症対策の継続及び体調不良時の受講は控えてもらうようにしている。情報センターのインターネット環境設備改善対策として、LANケーブルの強化で対応しているが一時的であり、今後も引き続き機材等の補填・更新の管理体制も工夫が必要である。
- (2) 2022年度は申込みも多く受講生は定員に達して開講したが、2年目以降、欠席者は増えた。2023年度受講生は申込者数が伸び悩み、選考試験後、協議の結果、数名を加えて13名で開講した。選考試験は難易度が高いわけではないが、全体的に読み取りの力が弱く、講座の中でも読み取り通訳の強化が課題となっている。節会議で受講生の状況を情報共有し、指導に生かせるよう、工夫している。
- (3) 受講生の募集に当たっては、毎年、札幌協登録手話通訳者（無資格）にも呼びかけを行っているが、なかなか申し込みに結び付いていない現状である。全国手話通訳者統一試験の合格を目指し挑戦の促しを継続する。

3. 「2023年度札幌市登録手話通訳者認定試験学習会」の開催(独自事業)

手話通訳者全国統一試験に挑戦する受験者のために要約及び場面通訳に絞って学習会を開催した。2023年度は、北海道ろうあ連盟から共催を1回として実施した。

期 間：8月4日（金）9月1日（金）10月20日（金）11月18日（土）

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：受験者及び受験を考えている者

結 果：8月5日 5名 9月2日 6名 10月20日 20名 11月18日 11名
学習会の内容としては、試験科目を考慮して、翻訳（手話表現・読み取り）技術、場面通訳等に絞って実施した。

Ⅲ 手話奉仕員養成講座の開催

聴覚障害者に対する理解を深め、手話の普及並びに手話奉仕員を目指す者を養成した。

1. 手話講習会（入門）事業（札幌市委託事業）

（1）2023年度札幌市手話講習会の開催

聴覚障害者に対する理解を深めることと、手話で初歩的な日常会話ができることを目的とした講習を、札幌市内10区11会場にて開催した（中央区は2会場）。

応募者多数のため、市と協議し、急遽の対応であったが、各区支部の協力を得て定員を各会場5名ずつ（中央区Bは10名）増員して行った。

期 間：2023年5月15日（月）～10月30日（月）（21回）

①定員・受講者及び修了者の状況（単位：名）

	中央A	中央B	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	合計
当初定員	30	30	35	40	40	30	30	30	30	35	30	360
増員後定員	35	40	40	45	45	35	35	35	35	40	35	420
申込数	87	60	113	84	81	58	44	42	56	70	60	755
受講決定	35	39	39	45	45	35	35	35	34	40	35	417
修了者	25	27	36	31	37	27	27	27	30	30	26	323
	定員		応募者数		受講者数		修了者数		修了率			
2022年度(対面)	280		568		278		190		68.3%			
2023年度(対面)	420		755		417		323		77.4%			

②実技（18回）（毎週月曜日）

5月15, 22日	開講式 第1・2講座 表現基礎演習
5月29日・6月5, 12, 19, 26日・7月3, 10日	第3～8講座 自己紹介
7月24日	第9講座 自己紹介～まとめ～
7月31, 8月7, 21, 28日・9月4, 11, 25日・10月2, 16日（※8月21, 28日・9月4日のうち1回は理論（出前）講義）	第10～17講座 話してみましよう
10月23日	第18講座 総まとめ

③理論講義（合同・出前）（2回）

・6月19日（月）「聴覚障害の基礎知識」※受講者多数のため、2カ所で開催

【1】札幌市社会福祉総合センター 大研修室

講師 福島太郎氏（札幌協理事）

【2】札幌市視聴覚障がい者情報センター 大会議室

講師 若浜ひろ子氏（札幌協理事）

・8月21日（月）中央区・豊平区・手稲区会場

8月28日（月）北区・厚別区・南区会場

9月4日（月）東区・白石区・清田区・西区会場

「手話の基礎知識」

中央区A会場 講師 中 和彦氏（札幌協副理事長）

中央区B会場 講師 越智 誠氏（札幌協理事）

北区会場 講師 若浜ひろ子氏（札幌協理事）

東区・厚別区会場 講師 高嶋正博氏（札幌協副理事長）

白石区・手稲区会場 講師 京野大樹 氏 (札幌協常務理事兼事務局長)
豊平区・清田区会場 講師 金原浩之 氏 (札幌協理事)
南区・西区会場 講師 佐藤正昭 氏 (札幌協理事)

④修了式 10月30日(月) ※修了者多数のため、時間をずらして2カ所で開催

【1】札幌市社会福祉総合センター 大研修室

【2】札幌市視聴覚障がい者情報センター 大会議室

(2) 手話講習会の講師・助手に対する研修及び会議等の実施

① 4月10日(月) 事業説明会 市社会福祉総合センター

② 4月10日(月) 合同講師補助講師研修会 市社会福祉総合センター

「手話奉仕員のテキスト概要と指導ポイント」

講師 若浜ひろ子氏(札幌協理事)

③ 5月 8日(月) 各区講師補助講師打ち合わせ 各区会場

④ 7月14日(金) 講師補助講師節会議 市視聴覚障がい者情報センター

⑤ 11月 6日(月) 各区講師補助講師反省会 各区会場

⑥ 11月27日(月) 全体講師補助講師反省会 市社会福祉総合センター

(3) 手話講習会プレ体験会の開催(全4回)

落選者を対象として、回数を増やし開催(2022年度は2回)。

・会場 かでの2.7 1階 かでのアスビックホール

・日程及び講師

① 6月19日(月)

講師 渋谷雄幸氏(札幌協理事長)・渋谷悌子氏(コミュニケーション支援課長)

② 9月29日(金)

講師 若浜ひろ子氏(札幌協理事)・渋谷悌子氏(コミュニケーション支援課長)

③ 12月11日(月)

講師 高嶋正博氏(札幌協副理事長)・渋谷悌子氏(コミュニケーション支援課長)

④ 1月22日(月)

講師 京野大樹氏(札幌協常務理事兼事務局長)・渋谷悌子氏(コミュニケーション支援課長)

【手話通訳者養成等運営会議(養成)】

(1) 若年層の申込者を増やすため、例年市内各大学及び各施設等へポスター・チラシを郵送し周知・啓発を図っているが、2023年度は応募者殺到の状況あり途中で取りやめた。コロナ禍により動画を活用した講座に切り替えた2020～2021年度の受講者に限っては、2022年度の再応募を認めている。

(2) 応募者多数のため、市の要望に応える形で各区会場の定員を5名ずつ増員(中央区Bは10名増員)し、また落選者のためのプレ体験会を2回から4回に増やして対応した。会場は、市の要望で受講できなかった(落選・補欠落選・辞退)327名が一度に収容できるかでの2.7とし、対象者全員に案内を送付。実際の参加者は少数にとどまったが、参加者は熱心に学んでおり、アンケートによると、内容は好評であった。

(3) 今回の各区定員増は急遽の決定であり、各区講師団への説明会も実施して理解をお願いした。区によっては、会場が狭く指導しにくかったこと、講師配置に苦慮したこと等、反省会にて意見が出された。

今後の課題として、講師不足解消が急務であるが、講師育成には時間がかかり、引き続き育成講座の受講を呼び掛けていく。

- (4) 受講者多数のため、理論講義（合同）と修了式は2カ所で開始時間を30分ずらして実施した。また、修了式では時間の都合もあり、例年行っていた修了生全員の氏名読み上げに替えて、プロジェクターで修了生氏名を投影した。

2. 中級手話講習会（基礎）事業

(1) 2023年度札幌市中級手話講習会の開催（札幌市委託事業）

手話で日常会話を行なうのに必要な手話語彙及び手話表現技術を習得し、聴覚障害、聴覚障害者の生活及び関連する福祉制度などについての理解と認識を深め、地域で活動する人材の育成を図るための講習を開催した。

期 間：2023年5月18日（木）～2023年11月9日（木）（26回）

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

①定員・受講者及び修了者の状況 (単位：名)

	定員	応募者数	受講者数	修了者数	修了率
2021年	50	36	34	23	67.6%
2022年	50	38	36	28	77.7%
2023年	50	78	50	45	90%

②受講者の住居区分状況 (単位：名)

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	合計
申込者	16	12	3	8	6	11	3	8	10	0	77
受講者	9	8	1	6	5	4	0	6	7	0	50
修了者	8	8	1	6	5	4	2	6	5	0	45

※市外在住から1名申込あったが対象外のため申込者数に含めず。

③開講式 5月18日（木）

④実技（毎週木曜日）

月 日	内 容
5月18日～9月14日	第19～34講座 基本文法
9月21日～9月28日	第35・36講座 総合練習Ⅰ
10月5日～11月2日	第37～40講座 総合練習Ⅱ・まとめ

講師：10名（札幌協推薦講師6名 札幌通研推薦講師3名 専通1名）

⑤理論講座

- ・5月18日（木）「ボランティア活動」 講師：久保田昭人氏・佐藤正昭氏
(中級手話講習会担当講師)
- ・7月27日（木）「障害者福祉の基礎」 講師：三上 真治氏
(札幌市障がい福祉課在宅福祉係)
- ・10月5日（木）「聴覚障害者活動と聴覚障害者福祉制度」
講師：新田由香氏・太田利実氏
(中級手話講習会担当講師)

⑥修了式・講評・反省会 2023年11月9日（木）

(2) 中級講習会の講師に対する研修及び会議等の実施

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

- ①4月 6日（月） 事業説明会
- ②4月10日（月） 合同講師助手研修会 「奉仕員養成課程のねらい」
- ③5月12日（金） 講師研修会「指導技術」
- ④節会議・評価会議・反省会

内 容	日 程			
節会議	①4月12日(水)	②6月14日(水)	③7月19日(水)	④9月13日(水)
講師反省会	2023年11月24日(水)			

【中級手話講習会講師団】

- ・2023年度はろう講師6名、聞こえる講師4名、奉仕員担当専通を担当とし、ろう講師には、市手話講師育成講座修了者2名を新たに加えた。2022年度聴講生にも、聞こえる講師として打診したが、講師陣に加わることは難しかった。講師の人材確保が課題であり、今後も聴講生を入れていく。
- ・2グループ制・講師配置も例年通りとし、丁寧な指導を心がけている。尚、全国手話研修センター主催の2023年度 手話奉仕員養成担当講師ブロック研修会【北海道】（ウェブ研修+zoom研修）については、担当講師に希望を聞き、ろう講師2名・聞こえる講師1名の出張となった。

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

- (1) 新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、感染対策の緩和に伴い、受講生の体温測定等は中止したが、2023年度はルカミィマスクを配付とした。第39講座での、ろう者ゲスト2名の依頼を継続しており、通常講座では会えないろう者と、手話で交流する機会は、毎年大変好評で、今後も継続する予定である。
- (2) 修了率は90%と高くなり、積極的に熱心な受講生が多かった。年齢層も少し若く、中には配慮を要する方もいたが、受講生同士が助け合う姿勢も見られ、全体的な雰囲気も明るく、それが修了率にも表れているとの意見があった。
- (3) 手話サークル加入者は、受講生の約半分となっており、地域活動や地域のろう者との交流の大切さを講師からアドバイスしている。今年は、ろうあ協会の行事等の再開も増えており、文化祭への参加や手話検定への申込者も見られている。

【情報・コミュニケーション部】

(1) 手話講習会について

新型コロナウイルスは「5類」に移行したが、なおも流行が続く中、2023年度は無事に開催することができた。

申込者が大幅に定員を超えているため、定員を増やしてほしいと市民から市へ要望があったので、急遽、各区定員を5名追加して開催した。300名以上の落選者と辞退者に対しては、市と協議し、「プレ体験会」を4回開催した。

各区講師同士で協力し合って取り組むことができたが、高齢化に伴い、講師が不足する区が出ており、講師不足の区には理事が入って補った。

後継者の育成が今後の課題となっている。

2024年度から新カリキュラムがスタートするため、不安もあるが、今までの通り丁寧な指導を心がけたい。

(2) 中級手話講習会について

2021年度・2022年度は定員割れだったが、2年ぶりに定員を超える応募があり、50名でスタートした。経験ある講師1人を迎え、他の経験ある講

師たちと支え合いながら進めることができた。今後は、新たな人材育成が必要。

(3) 手話通訳者養成講座について

初級、中級と同様に全講座開催できた。講師の人数を増やすことにより、担当負担を減らし、バランスをとることができた。また担当時に都合がつかない時は講師間で日程調整をした。

(4) 講座全般について

年齢層が幅広く、受講者のレベルアップが課題となっている。初級のみで終わらずに中級講習会、手話通訳養成講座に繋げるよう工夫していく。各講座講師たちは掛け持ちが多く、ろう講師、聞こえる講師を担う人材が減少し、不安がある。今後、資質ある人材の確保のために、講師育成講座の内容の充実、改善を図り、講師を担える人材の養成に取り組んでいく。

(5) 専門部会議について

各区情報コミュニケーション部会議は対面会議10回を行い、他にLINEグループでも情報交換ができた。コロナ禍の前は活動が制限されていたが、「5類」に移行してから各区手話サークルも再開するようになり、会員が増えている。

今後、各支部と手話サークルとの連携を強化し、札幌研と札幌連と共に情報を共有しながら個々の課題把握に努めることが必要である。

IV 札幌市手話通訳者養成等運営会議（派遣・養成）

構成：札幌市障がい福祉課・札幌聴覚障害者協会・札幌手話サークル連絡協議会・札幌手話通訳問題研究会

期間：2023年4月～2024年3月（8月除く月1回開催）時間 19：00～20：30

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	区分	主な内容	人数
1	4月20日	派遣	派遣状況、登通状況について	12名
2	5月18日	養成	各講座の申込・選考状況、講師割り振りについて、現任研の報告	12名
3	6月15日	派遣	派遣状況 苦情対応について	8名
4	7月20日	養成	各講座の進捗状況、手話講師育成講座、手話通訳者現任研修会について	11名
5	9月21日	派遣	派遣状況 2022年度の派遣実績について	8名
6	10月19日	養成	各講座の進捗状況、育成講座、手話通訳者現任研修会、全国統一試験及び学習会について	10名
7	11月16日	派遣	派遣状況、登通状況について	9名
8	12月21日	養成	各講座の進捗状況、来年度講座に向けて、手話通訳者現任研修会、全国統一試験について	13名
9	2024年 1月18日	養成	2024年度各講座に向けて、養成・育成講座の進捗状況、統一試験、現任研修会について	12名
10	2月15日	派遣	派遣状況、関係機関との連携について	11名
11	3月21日	養成	2024年度各講座の申込状況、育成講座の修了、現任研修会の状況、コロナ対策について	12名

※2022年度から市はリモート参加。

【養成事業】出席者

札幌市：障がい福祉課 森岡祥広係長、三上真治職員

札サ連：鍛冶由佳子副会長、田向美代子広報部長

札通研：太田利実副運営委員長、佐藤薫会計次長

札幌協：中和彦副理事長（7月迄）、高嶋正博副理事長（10月～）、京野大樹常務理事兼事務局長、若浜ひろ子理事、福岡静枝理事

担当職員：渋谷梯子課長、佐藤有香係長、事業担当者

【派遣事業】出席者

札幌市：障がい福祉課 森岡祥広係長、三上真治職員

札通研：太田利実副運営委員長、佐藤薫会計次長

札幌協：渋谷雄幸理事長、高嶋正博副理事長（9月迄）、京野大樹常務理事兼事務局長、若浜ひろ子理事

担当職員：渋谷梯子課長、金原さとみ係長、佐藤有香係長、事業担当者

V 手話教室の開催

手話を社会一般に広めるとともに、それを使用する聴覚障害者についての知識や理解も深めてもらうために次の事業を行なった。

1. 手話教室事業の開催（独自事業）

(1) はじめての手話教室

手話の学習経験がない者を対象に、聴覚障害者の生活・文化等を理解するとともに手話で簡単な日常会話ができるようになることを目的として日中に手話教室を開催した。

① 第43回はじめての手話教室（入門）

期間：2023年4月14日（金）～9月15日（金）（全20回）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

対象：手話講習会の経験ない者、初心者

受講人数：受講生12名（修了生10名）

② 第44回はじめての手話教室（入門）

期間：2023年9月29日（金）～2024年3月8日（金）（全20回）

応募数が最小催行人数に満たなかったため、今回の講座はやむを得ず、中止した。

(2) フォローアップ手話教室

手話奉仕員養成カリキュラム「入門課程」を再度学びなおし、聴覚障害者に対する理解と手話での日常会話技術を深める手話講座を開催した。

① 第18回フォローアップ手話教室（昼間）

期間：2023年9月21日（木）～10月19日（木）（全5回）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

対象：手話奉仕員養成カリキュラム「入門課程」の修了者

受講人数：受講生6名（全出席3名）

② フォローアップ手話教室（夜間）

期間：2023年11月20日（月）～12月18日（月）（全5回）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

対象：手話奉仕員養成カリキュラム「入門課程」の修了者

受講人数：受講生41名（全出席32名）

(3) 第17回中級手話教室（基礎）

入門編で習得した会話技術に加え、基本文法も学ぶことで特定の聴覚障害者とならば日常会話ができるようになるとともに、福祉制度の基礎知識や聴覚障害者の歴史についても理解できることを目的として日中に中級手話教室を開催した。

期間：2023年5月17日（水）～11月22日（水）（全27回）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

対象：入門課程の修了者または同程度の力量がある者、手話で簡単な会話ができる者

受講人数：受講生10名（修了生9名）

(4) 2023年度はじめての手話教室（医療編～薬局で働く人対象～）

あいさつや接客及び薬局現場で使う簡単な手話を学習する手話教室を開催した。

期間：2023年6月16日、23日、30日（金）（全3回）

受講人数：受講生10名

対象：調剤薬局関係者

(5) 2023年度はじめての手話教室（医療編～病院で働く人対象～）（夜間）

病院の医師・看護師及びスタッフでのあいさつや自己紹介また医療現場で使う簡単な手話を学ぶことで聴覚障害者が少しでも生きやすい、話が通じやすい環境が広がっていくことを目的とした手話教室を開催した。

期間：2024年1月26日、2月2日、9日（金）（全3回）

受講人数：受講生17名

対象：病院関係者

(6) 第13回レベルアップ手話講座（昼間）

中級手話教室（基礎）修了者を受講対象とし、中級手話講座と手話通訳者養成講座の間に位置する講座として、手話の特徴を中心に学び、個々の力のレベルアップを目指す講座を開催した。

期間：2024年1月17日（水）～2月14日（水）（5回）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

受講人数：受講生13名

対象：手話奉仕員養成カリキュラム「基礎課程」の修了者

(7) 2023年度耳がきこえない・きこえにくい方のための手話教室

対象：きこえない・きこえにくい人

開催予定だったが、日程の調整が難しくなったため、中止した

2. 札幌市ミニ手話講座（札幌市委託事業）

札幌市から委託を受け手話を学習した事のない一般市民を対象に講座を開催した。

期間：2023年7月～2024年3月（10回）

対象：札幌市民

回数	年月日	会場名	対象	申込参加人数
第1回	2023年7月12日(水) (夜間)	市民交流プラザ	市民	30名(5名)

第2回	8月5日(午前)	札幌視聴覚障がい者 情報センター	小学4～6年の 子供・保護者	4組
第3回	8月21日(午前)		市民	7名(2名)
第4回	9月15日(夜間)	オンライン	中学生	3名
第5回	10月17日(午後)	白石区民センター	市民	11名(2名)
第6回	11月11日(午前)	北区民センター	市民	18名(4名)
第7回	12月7日(夜間)	オンライン	市民	9名(1名)
第8回	2024年1月16日(午後)		市民	5名(3名)
第9回	2月8日(午前)	市民交流プラザ	市民	20名(2名)
第10回	3月8日(夜間)	カナモトホール	市民	27名(6名)

* () 当日欠席者数

【手話普及事業担当】

[独自教室]

- ・新型コロナウイルスが「5類」に移行しましたが、まだまだ収束とはいきませんが、各講座は対面で開催することができた。しかし「後期はじめての手話教室」は申込数が最小催行人数に満たなかったため、やむを得ず中止した。
- ・来年度も引き続き、呼びかけ方法などを工夫して各講座15名以上を目指す。
- ・札幌市手話講習会の修了生を対象に、夜間のフォローアップ手話教室を開催、30名の定員のところ40名を超える申し込みがあり、すぐにホームページの受付を終了した。周知に一定の効果があった。

[札幌市ミニ手話講座]

- ・2020～2022年度はほぼオンライン講座でしたが、今年度は10回のうちの7回を対面方式で開催することができ、申込人数は2022年度とほぼ同じくらいです。全体的に参加者の年齢層は幅広く、積極的に学んでいる姿が見受けられ、アンケート結果も好評である。

VI 手話講師の派遣

聴覚障害者に対する理解とコミュニケーション方法や言語としての手話を教え、聴覚障害者に対する社会一般の認識を深めるために聴覚障害者の講師を派遣した。

1. 聴覚障がい・手話啓発事業

期間：2023年4月～2024年3月（年間）

場所：市内各所（学校、企業等）

（1）ボランティア活動センターからの依頼 40件

年月日	学校名・企業名等	対象	人数
6月5日	北陽小学校	小学校4年(全学年)	79名
6月9日	新発寒小学校	小学校4年(3クラス)	71名
6月15日	信濃小学校	小学校4年(3クラス)	75名

6月22日	栄東小学校	小学校5年(2クラス)	70名
6月26日	篠路小学校	小学校4年(2グループ)	74名
6月26日	清田緑小学校	小学校4年(全学年)	95名
6月28日	みどり小学校	小学校4年(全学年)	61名
8月28日	新陽小学校	小学校5年(1クラス)	87名
8月29日		小学校5年(2クラス)	
9月6日	開成中等教育学校	中学校3年(2グループ)	47名
9月12日	厚別北小学校	小学校4年(全学年)	117名
9月14日	北都中学校	中学校1年(2グループ)	80名
9月19日	大谷地東小学校	小学校4年(2グループ)	59名
9月20日	川北小学校	小学校4年(2グループ)	120名
9月25日	あいの里西小学校	小学校4年(2クラス)	62名
9月26日	北野台小学校	小学校4年(2クラス)	84名
9月28日		小学校4年(1クラス)	
9月28日	新陵小学校	小学校5年(2クラス)	49名
10月4日	南小学校	小学校3年(2クラス)	45名
10月11日	北野平小学校	小学校4年(2クラス)	55名
11月6日	札幌みなみの杜高等支援学校	高校1年(2クラス)	57名
11月14日	北栄中学校	中学校3年(全学年)	122名
11月14日	新川中央小学校	小学校4年(全学年)	70名
11月20日	もみじの森小学校	小学校5年(2クラス)	49名
11月28日	太平小学校	小学校4年(2クラス)	103名
11月30日		小学校4年(1クラス)	
12月13日	八軒小学校	小学校4年(2クラス)	80名
12月14日		小学校4年(1クラス)	
12月19日	札幌市青少年山の家	スタッフ	11名
12月13日	ヒューマンキャンパスのぞみ高等学校	高校1・2年	30名
12月14日		高校2年	36名
12月19日	札幌市青少年山の家	職員	11名
1月18日	稲陵中学校	中学校3年(全学年)	173名
1月23日	札幌小学校(午前)	小学校4年(2クラス)	77名
	札幌小学校(午後)	小学校4年(1クラス)	
1月24日	西野第二小学校	小学校5年(選択)	30名
1月31日	清田小学校	小学校4年(2クラス)	61名
2月20日	北海道美術館協力会解説部	ボランティアスタッフ	17名
2月14日	手稲鉄北小学校	小学校5年(全学年)	98名
3月7日	光星中学校	中学校2年(2グループ)	70名

(2) ボランティア活動センター主催手話講座の講師派遣依頼 7件

年月日	講座名	対象	人数
2023年4月18日	手話体験講座	一般	3名
6月15日	受講修了生からのスピーチ	身体障害者、一般	30人
6月20日	障がい者講師養成講座	身体障害者	8名
6月1日～7月13日	ボランティアのため入門講座	一般	3名
12月18日	手話体験講座	一般	4名
2024年1月16日～2月27日	ボランティアのため入門講座	一般	7名

(3) 直接依頼（企業・団体・他）9件

年月日	学校名・企業名等	対象	人数
2023年5月31日 ～6月28日 (5回)	月寒公民館	一般	17名
7月11日 (2コマ)	札幌医科大学	医学部1年	110名
7月25日	札幌LGBTQ	一般	8名
8月3日	厚別区社会福祉協議会	小学5・6年	17名
8月7日	清田区里美ネット	一般	10名
8月7日	札幌市教育センター	教職員	32名
11月1日	札幌市役所障害労働者連絡会	市職員	20名
1月19日	北白石地区安全・安心のまちづくり ネットワーク会議	一般	40名
3月7日	東区民センター (東区くらしのサポーター養成講座)	一般	15名

2. 手話養成普及事業

(1) 講師派遣事業

期間：2023年4月～2024年3月（年間）

場所：市内各所

学校名・企業名等	期間・回数	学科名等対象	人数
札幌聖心女子学院	通年木曜日15回	中学3年(2クラス)	15名
経専学園北海道観光専門学校	前期12回	エアライン科2年	5名
	前期11回	旅行・鉄道科2年	9名
	後期12回	旅行・鉄道科1年	4名
	後期13回	ホテルウェディング科2年	14名
	特別講座(1回)	エアライン科2年	3名
経専学園医療事務薬業専門学校	後期15回	医療事務学科2年	11名
	前期15回	くすり学科2年	11名
	後期15回	くすり学科2年	7名
経専学園北海道保育専門学校	後期前半×8回	こども未来学科3年	15名
	後期後半×8回	こども学科2年(2クラス)	35名

札幌医科大学	後期12回× 2コマ	看護学科・作業療法学科 理学療法学科1年	85名
光塩学園女子短期大学	前期16回	保育科2年(2クラス)	24名
西野学園札幌心療福祉専門学校	後期15回	精神保健福祉科1年	9名
一番街商店街振興組合レディス会	前期5回	店員、スタッフ	8名
札幌どうぶつ専門学校	前期10回2コマ	犬の美容、動物看護、 ペットライフ学科2年	53名
三幸学園ブライダル& ホテル観光専門学校	前期15回	ホテルエア トラベル科2年	23名
さっぽろ市民カレッジ(ちえりあ)	後期14回	高校生15名・一般7名	22名
せいとく介護こども福祉専門学校	前期8回	こども福祉科1年 (保育・幼稚園教諭コース)	14名
	前期8回	こども福祉科2年 (保育コース)	12名

3. 講師・助手研修会開催

「講師・助手事業説明会」を開催した。

日時：2023年5月25日(金) 10:00～12:00

会場：市視聴覚障がい者情報センター

対象：講師・助手 11名(職員7名・聞きこえる者4名)

【手話普及事業担当】

- ・単発講座(小中学校など)の派遣依頼数はコロナ禍前の数字以上に増えている。専門学校などはほぼ同様ですが、少子化や経営難による学校の閉校やカリキュラム変更など、契約終了となる学校も出ている。
1校閉校で2023年度終了となる。
- ・ろう講師やきこえる講師および助手の高齢化で、人材確保が厳しい状況。講師・助手ともに登録者の増員と研修会等による研鑽の場が必要である。
- ・アルバイトのろう講師に依頼して協力してもらっているが、職員と外部ろう講師も少なく、急遽人材育成が必要である。

VII 第18回全国手話検定試験の実施

*試験会場として実施協力(主催：社会福祉法人全国手話研修センター)

(1) 受験者のための学習セミナー

日時：2023年8月26日(土) 9:30～16:30

会場：市視聴覚障がい者情報センター

開催級：5級～1級

受講人数

5級	25名	4級	27名
3級	11名	2級	9名
準1級	5名	1級	3名

講師および模擬面接委員

	ろう	きこえる	通訳
講師	3名	3名	2名
模擬面接委員	9名	13名	1名

(3) 第18回全国手話検定試験

日時：2023年10月12日（土）5級・4級

10月13日（日）3級・2級

10月19日（土）準1級・1級

会場：市視聴覚障がい者情報センター／市視聴覚障がい者情報センター

*新型コロナウイルス感染症が5類になったことから、定員を戻して開催。

申込者数／受験者数／合格者数（単位：名）

5級	101	93	91	4級	96	91	86
3級	65	60	51	2級	38	34	29
準1級	12	10	8	1級	6	5	4

面接委員：ろう者 23名、きこえる者 22名

要員：ろう者 22名、きこえる者 53名

【手話検定試験担当】

- ・新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、徐々に対面での活動が再開される社会の動きに合わせ、会場試験の定員をコロナ前の数に戻した。
- ・手話やろう者を取り上げた映像作品によるブームで、手話学習者が倍増し、学習セミナーに至っては、受付開始二日目にして5級が定員に達した。定員を増やす余地がなく、その後の申し込み者へは4級を勧めて対応。
- ・学習セミナーの全級（5～1級）同日開催は、講師および模擬面接委員の選定に苦慮する。今後は開催級の制限、複数日開催等も視野に入れて検討。
- ・感染防止用のアクリル板を使用しない方針のため、間隔をあけて面接ブースを設置する必要があり、建物二館を使用することとした。前日夜間の予約が取れず、開催当日にすべての会場設営を行うことになったため事前説明会に出席できない者が現れた。次年度以降は工夫していく。
- ・面接委員、要員が決定してからの辞退や変更連絡が多く、そこから新たに探すことは困難で、結果職員や兼務で受けてくれた人の負担となった。
- ・高齢化や家庭の事情による辞退者が増えていることから、講師経験のあるろう者、きこえる人に面接委員としての登録を勧めていきたい。

VIII 手話学習支援アプリの研究開発に伴う協力

BIPROGY（ビプロジー）株式会社はAI（情報技術）を使った手話翻訳システムを開発しており、区役所での窓口担当者やろう者のコミュニケーションを想定したシナリオ作成及び手話データ採取協力を行った。その後、視聴覚障がい者情報センターおよび厚別区・豊平区役所での実証実験の協力者募集を行った。

期間：2023年7月～2024年3月

内容：①打合せ（出席：BIPROGY株式会社、札通研、札聴協）

- ②サンプル撮影（本番撮影のため）
- ③本番撮影（理事・監事、青年部員・女性部員の協力）
- ④実証実験（理事・監事・各区支部会員の協力）

IX 札幌市職員向け手話研修動画制作

札幌市職員が動画閲覧で手話を学び、手話を使用して日常生活または社会生活を営む聴覚障がいのある来庁者と接遇する際に、区役所窓口等で挨拶や手続きの簡単な説明等を手話で行えるようにすることで、円滑なコミュニケーションが取れるようにすることを目的に動画制作を行った。

業務内容

- ・札幌市職員が接遇において、必要となる挨拶や手話単語等を選定する。
- ・業務目的に基づいた映像コンテンツを10本制作する。
- ・動画1本あたり1分程度。

挨拶（1本）、自己紹介（1本）、窓口業務での会話編（7本）、よく使う単語（1本）の動画を制作し、2024年2月22日に納品した。

IX 手話通訳者育成指導者養成の開催

1. 手話講師育成講座事業（札幌市委託事業）

(1) 2023年度手話講師育成講座事業の開催（2014年度開始）

手話奉仕員と手話通訳者養成事業を担う講師（人材）の確保を確実に進めるため、講習技術の向上を図り適切な講習が可能な講師を増やすことを目的としている。

2023年度は、手話奉仕員テキスト全面改訂版が発行となり、2024年度より手話講習会では改訂版テキストを活用しての指導となることから、育成講座の日程もすべて新テキスト対応の内容に急遽変更している。申込者が60名以上となり、定員は支部と相談し60名とした。

・手話奉仕員養成課程 定員60名

回数	月日	受講者数	受講証明書 授与者	授与者の 割合
10回	11月4日・5日、12月16日 2024年1月14日・20日、 2月3日、2月10日、2月11日 3月16日、3月17日	60名	36名	51%

講師：渋谷雄幸、若浜ひろ子、佐藤裕介、渋谷梯子、菅原美樹、山田幸雄、佐藤有香

②理論講義（合同）

演題	講師	実施日	受講者数
ことばの仕組み (手話言語)	国立民族学博物館外来研究員 川口 聖氏	12月16日	51名
手話通訳の理念と仕事 I・II	全国手話研修センター 川根 紀夫氏	3月17日	35名

【手話講師育成講座講師団】

講師団は札幌協会員で講座の指導経験が豊富な者、聞こえる講師は専通が担当している。講師会議では、当初はこれまでと同じく手話奉仕員養成と手

話通訳者養成の二本立てを考えていたが、全面改訂した「手話奉仕員養成テキスト」が発行され、新テキスト導入に向けて、手話奉仕員養成課程に絞った形で実施することとした。

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

- (1) 理論講義講師は、全国手話研修センターへ相談し、「ことばの仕組み（手話言語）」は昨年度に引き続き川口氏へ、「手話通訳の理念と仕事ⅠⅡ」については川根氏へ依頼することができた。両名とも、来札し対面での講座を実施した。理論講義はどちらも講師を担う上で必須の内容であり、受講者アンケートでは、どちらも大変好評だった。
- (2) 出席率は平均66%と高く、行事が重なりやむを得ず出席者数が減る回もあったが、参加者は熱心に受講していた。次年度も同様の内容、多くの受講生に出席してもらいたい。

X やさしさっぽろ手話（社会福祉協議会主催）

社会福祉協議会との共同で初心者向けの手話講座を開催してきた。元障害福祉課職員が再雇用された時に、市民が手話教室ではなく手話を学べる場を企画したいと相談があり対応してきた経過がある。コロナ感染症拡大により人数制限をした時もあったが、8年間継続してきた中、手話言語条例等の制定になったことや、全国手話検定への試験への挑戦、札幌聴覚障害者協会の行事や手話サークルの情報提供等の呼びかけに参加していただいていることから手話普及に貢献できたと考える。

2024年度からは、手話学習については、法人事務局へ講師派遣を要請する等へ継続しての学習保障が可能であることから2023年度で協力を中止することになった。

日 時：第2・4火曜日（祝日除く）11：00～11：30

会 場：社会福祉総合センター 1階アトリウム

対 象 者：主に初心者対象としているが条件等はなく自由参加。

実施内容：基本的な手話単語は6回を1クール、2020年度からは、会話中心の内容としている。

実施年度	実施回数	延べ参加人数
2016～2022年度	128回	3680名
2023年度	24回	339名
計	152回	4019名

※他、書籍販売「さっぽろの手話」「新たっちゃんと学ぼう」販売、計51冊。

【公2】生活支援事業

I 聴覚障害者支援センターほほえみ

1. 地域活動支援センター事業（札幌市補助事業）（定員：15名）

聴覚障害者への理解を深める啓発活動を進め、重複及び聴覚障害者に対する障害者福祉サービスを提供した。

(1) 地域活動支援センターほほえみ西

ろう者、重複ろう者、難聴者などの交流と日中活動を支援する。

利用時間：(火～土 10時～15時)

場所：西区二十四軒1条5丁目3-12

内容：交流・教養及び防災訓練等実施、送迎サービス

⑦通所者数・月別(延べ人数)

(単位：名)

	23年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	24年 1月	2月	3月
男性	114	99	111	105	111	129	142	149	113	112	101	122
女性	75	64	53	81	42	74	78	79	72	61	51	93
合計	189	163	164	186	153	203	220	228	185	173	152	215

⑧各区分・登録者数(延べ人数)

(単位：名)

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	市外
男性	1	6	3	5	4	2	1	1	5	3	0
女性	1	4	6	4	3	0	1	1	5	3	1
合計	2	10	9	9	7	2	2	2	10	6	1

(2) ほほえみ西 年間行事報告

(単位：名)

月日	内容	場所	参加者数				合計
			利用者	ボランティア	職員	その他	
2023年 4月19日	お楽しみ会	福祉センター	8	2	3	1	14
4月21日	外出の日(花見)	農試公園	7	2	3	0	12
5月31日	学習会	福祉センター	9	2	4	1	16
6月9日	ラメ墨教室	ほほえみ西	10	2	3	1	16
6月10日	ひげの校長上映会	手稲区民センター	16	3	4	0	23
7月9日	ほほえみ祭り	福祉センター	21	6	4	0	31
7月26日	社会見学	ロイズ(当別)他	17	5	4	0	26
8月11日	お楽しみ会	福祉センター	14	5	4	0	23
9月8日	学習会	福祉センター	9	3	4	7	23
10月3日	ほほえみカフェ食事会	ほほえみカフェ	8	2	3	0	13
10月6日	ほほえみカフェ食事会	ほほえみカフェ	13	2	4	0	19
10月14日	避難訓練	ほほえみ西	5	2	3	0	10
10月20日	社会見学	酪農と乳の歴史館	19	6	4	0	29
11月3日	交流会	福祉センター	18	4	4	1	27
11月10日	外出の日(ふく展)	社会福祉総合センター	14	2	4	0	20
11月11日	外出の日(ふく展)	社会福祉総合センター	5	1	3	0	9
11月15日	お楽しみ会	福祉センター	12	4	3	0	19
12月9日	クリスマス会	福祉センター	27	8	3	1	39
2024年 1月5日	餅つき	ほほえみ西	17	2	3	1	23
2月3日	節分	ほほえみ西	11	3	2	0	16
3月29日	西14周年お祝い会	福祉センター	32	7	3	0	42

- ㊦コロナ5類移行後、昼食提供の再開や社会見学など行事も活発に行った。
- ㊧9月以降、新規利用登録者や見学者が増え、ほほえみ以外の就労継続支援（A型、B型）の利用者登録が増えた。
- ㊨インスタグラムやショップカード配布など新たなPR方法に取り組んだ。

(3) 2024年度に向けての課題

- ㊩運営を安定させるため、今後も幅広い世代の新規利用者を増やす。
- ㊪曜日により、通所者数が大きく違うため、対策を考えて行く。
- ㊫2023年度の利用者実績により、札幌市補助金が下がるため、節約が必要である。
- ㊬市内の地域活動支援センターと団結して、札幌市地域活動支援センター基本補助額大幅引き上げ活動をし、札幌市へ要望を出している。（15年間基本補助額が上がっていないため）要望実現に向けて今後も運動が必要である。

2. 就労継続支援事業（指定障害福祉サービス事業）

就労継続支援B型事業（定員：35名）

障害者総合支援法に基づく就労継続支援B型事業として、聴覚障害者が安心して働くことのできる作業所の運営を行なった。

(1) 利用者数

(単位：名)

	23年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	24年 1月	2月	3月
利用者数	35	36	35	36	36	34	35	36	35	33	32	33
延べ 利用者数	527	522	584	535	552	512	539	508	460	412	421	419

(2) 行事参加状況

2023年	行事名	場所
7月9日	ほほえみ祭り	身体障がい者福祉センター
10月1日	ろうあ者文化祭	身体障がい者福祉センター

(3) 出店バザー

①バザー

2023年	バザー	場所
4月	福祉バザーin清田区役所 ほほえみ後援会	清田区役所 視聴覚障がい者情報センター
6月	札幌協総会 丘珠まるしえ	視聴覚障がい者情報センター さとらんど
7月	福祉バザーin清田区役所 ほほえみ祭り	清田区役所 札幌市身体障害者福祉センター
9月	第64回全道ろうあ者大会 オータムフェスト 丘珠まるしえ	岩見沢市 大通公園西5丁目 さとらんど交流館前
10月	第48回札幌ろうあ者文化祭 清田区役所in福祉バザー	札幌市身体障害者福祉センター 清田区役所

11月	第12回東区手話まつり	伏古地区センター
12月	福祉バザーin清田区役所	清田区役所
1月	ほほえみ後援会『講演会』	視聴覚障がい者センター
2月	福祉バザーin清田区役所	清田区役所
3月	第46回耳の日市民のつどい 上映会「ヒゲの校長」	道民活動センター

②訪問販売

4月～ 2024年3月	札幌市産業振興センター、株式会社アイワード、 就労継続支援A型事業所ユニゾン、 就労継続支援B型事業所なごみ、かでの2.7、 和田精密技研株式会社、デイサービスほほえみ白石、 太平南小学校（4月～11月）、札幌協理事会
----------------	---

③委託販売

4月～ 2024年3月	いのこもの展（みんなの家）、 南地区会（中央区民センター）
----------------	----------------------------------

（4）委託販売場所

	店名	場所
1	元気ショップ	大通東西線コンコース内
2	元気ショップ「いこーる」	札幌駅西コンコース内
3	Ohana E.S 合同会社	市民交流プラザ等
4	円山動物園	西門オフィシャルステーション内

（5）実習受け入れ状況

7月5日～20日 こども學舎（指定保育士養成施設）保育実習1名

場所：ほほえみ作業所

7月7日 札幌聾学校 職業体験3年生1名 引率教師1名

場所：ほほえみ作業所

7月7日 札幌聾学校 職業体験3年生1名 引率教師1名

場所：菓子工房ほほえみ

（6）見学・取材 受入れ状況

月日	取材元	参加者	内容	場所
11月29日	一般社団法人 北海道民間社会福祉事業職 員共済会	2名	広報誌「しあわせ」 掲載のための取材	ほほえみ 作業所

（7）防災・防火訓練

月日	場所	参加人数			
		利用者数	職員数	その他	合計
7月11日（避難）	ほほえみ作業所	12	5	1	18
10月3日（防火）	ほほえみ作業所	11	5	1	17
2月27日（防火）	ほほえみ作業所	0	6	0	6

(8) 送迎サービス

(ア) 事業所間の送迎車での利用：

ほほえみ作業所・ほほえみカフェ⇄地下鉄菊水駅・GH

2023年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延回数	248	284	269	260	278	213	250	235	171	202	159	204

(イ) 各事業所⇄自宅

交通手段	2023年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
車	事業所	0	0	0	3	0	2	0	0	1	0	2	0
	家族	30	33	58	46	44	53	47	42	33	22	28	30
公共交通機関	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ボランティア	0	0	0	0	2	0	0	0	3	3	2	0
徒歩	職員	2	6	3	1	1	1	1	3	36	59	78	71
	回数	33	39	61	50	47	56	48	45	73	84	110	101

(9) ほほえみ作業所

さまざまな体験を通して、一人ひとりの持っている力を活かした就労支援を行なった。

作業時間：月～金 9：30～15：30

場所：白石区菊水元町5条1丁目9-8

内容：下請作業・施設外就労・自主製品制作及び販売、送迎サービス、防災訓練等実施

①取り組み：下請け作業、委託作業、施設外就労など

		作業内容	昨年比
下請け作業	A社	シール貼作業、袋詰め作業など	約0.2万円収入減
	B社	月～金 毎日、封入作業など	約3万円収入減
	C社	手提げ袋の裁断、ヒモ付け作業など	約2万円収入増
	D社	食品の袋詰め作業	約22万円収入減
	E社	紙製品の加工作業。	約47万円収入増
	F社	液体ソースの計量、小分け作業	新規契約 約3万円収入増
	G社	豆の選別	新規契約 約0.5万円収入増
	H社	シール貼作業、袋詰め作業など	約0.2万円収入減
新聞帯封作業	札聴協の新聞と北聴新聞・ほほえみ便りの発行作業	昨年から継続	
施設外就労	企業の倉庫内での箱折り、梱包作業など	9回	
	小学校水回り清掃	昨年から継続、3月で終了	

②授産製品の見直しや工夫による効果

手芸品	引続きテレワークの手芸品を作業所で加工し商品の製作を行っている。定番商品の製作も下請け作業の状況に合わせて進め、在庫を保つことができた。
紙製品	今まで点字の紙を使って様々な紙袋の制作を行っていたが、サイズ指定のある注文があった。オーダー通りのサイズで試作し、2種類の紙袋を納品した。

③作業所の売上推移

(単位：円)

	バザー	ショップ	下請作業	収入計
4月	8,950	18,791	195,167	222,908
5月	2,100	2,840	382,307	387,247
6月	2,200	4,358	165,276	171,834
7月	8,753	5,315	366,192	380,260
8月	1,000	4,055	184,280	189,335
9月	14,700	4,955	108,119	127,774
10月	20,697	5,360	123,703	149,760
11月	1,600	5,900	211,041	218,541
12月	9,550	7,187	159,324	176,061
1月	200	8,330	211,787	220,317
2月	6,500	5,945	18,1319	193,764
3月	10,718	3,065	203,543	217,326
合計	86,968	76,101	2,492,058	2,655,127

【成果と目標】

昨年から下請け作業が増えていたが、作業が追い付かず調整が必要となった。利用者一人一人に合った仕事を確保できるよう企業にも働きかける必要がある。

利用者の高齢化が進み、通所が難しくなることが予想される、在宅就労が可能になるよう条件について札幌市に要望し認めてもらうことが出来た。高齢化だけではなく、様々な障がい特性にも対応できるよう職員体制を整えなければならない。

(10) 菓子工房ほほえみ

社会参加を目的とし売上を伸ばすだけでなく、作業内容を通して生活習慣やマナーなどについても支援した。

作業時間：月～金 9：30～15：00

場所：白石区菊水3条3丁目2-8

内容：菓子・パン製造、販売、送迎サービス、防災訓練等

①取り組み：現状の把握をしながら、利用者の技術の向上、社会参加を目指す。

製菓・製パン作業	利用者の製パン技術が向上したことにより、より多くのパンを作ることができるようになった。作業所に毎週納品しているパン弁当のメニューを利用者が提案し調理することにより、仕事の幅を広げることができた。
----------	---

ミニショップ	オータムフェストでパンを購入して、気に入って下さったお客様が数名お店まで来ていただいた。
社会への参加	外出行事はほぼ実施できなかったが、お食事は2月に1回開催することができた。

②来客数・売上

月	ショップ 売上 (単位：円)	その他売上 (単位：円)	菓子工房 売上 (単位：円)	来客数 (単位：名)	営業日数 (単位：日)
4月	56,740	134,070	190,810	79	12
5月	59,850	93,108	152,958	64	12
6月	66,035	133,044	199,039	104	13
7月	46,380	134,284	180,664	82	12
8月	77,345	91,929	169,274	112	14
9月	46,489	164,102	210,591	93	10
10月	51,715	184,556	236,271	101	13
11月	104,300	153,018	257,318	131	14
12月	88,520	84,368	172,888	105	13
1月	44,890	93,010	137,900	83	11
2月	50,160	107,368	157,528	114	13
3月	56,480	123,587	180,067	96	10
合計	793,211	1,479,097	2,245,308	954	124

【下請けの取り組みと成果】

はちみつの瓶詰め作業	今年度、はちみつの瓶詰め作業の依頼を3回受けた。慎重にミスの無いように進めている。
もなかセットアップの下請け作業	お茶の土倉さんからの下請け作業は、順調に進めることができている。定期的に依頼もあり、今後も丁寧に作業を続けて行きたい。
大豆ミートの袋詰め作業	ハーモニーガーデンより、色々な種類の大豆ミートの袋詰め依頼を受けた。ミスの無いよう進めている。

【目標】

菓子工房ほほえみでは、製菓、製パン作業を通してやりがいのある仕事を提供し、社会参加につながる経験ができるよう取り組みを続ける。

(11) ほほえみカフェ

菓子製造・カフェ業務の他、今年度から始めた下請けの仕事を通して、新たな可能性を広げられるよう就労支援を行った。

作業時間：月～金 9：30～15：30

場所：豊平区豊平3条7丁目1-1

内容：菓子・ケーキ製造、販売、接客、調理補助、清掃等

①来客数・部門別売上

月	人数(名)	カフェ 部門(円)	菓子 部門(円)	お弁当(円)	委託作業他 (円)	計 (円)
4月	160	183,630	342,645	130,500	13,691	670,466

5月	144	239,030	196,227	47,200	63,792	546,249
6月	170	183,070	296,405	158,350	30,500	668,325
7月	165	140,570	347,367	137,900	40,598	666,435
8月	172	176,410	171,507	129,600	19,344	496,861
9月	152	208,510	367,176	149,650	39,505	764,841
10月	171	200,960	510,096	141,050	15,210	873,316
11月	159	171,230	296,043	136,350	15,145	618,768
12月	157	189,020	667,647	118,000	75,375	1,050,042
1月	127	80,710	213,263	110,450	6,105	410,528
2月	148	117,390	534,171	102,800	6,550	760,911
3月	231	173,870	229,854	115,950	4,070	523,744
計	2,628	2,064,400	3,887,056	1,483,800	329,885	7,765,141

②ギャラリー貸出、イベント

内容	期間	詳細・実績等
ギャラリー 無料貸出	4月	『新作・道東の旅2023』 木村フォト企画グループ写真展
	5月～6月	椿卓司氏 写真展
	7月	内藤潤氏『水中写真展』
	8月	『音のない世界の五人侍』 写真展
	9月	フチヌ工房 アイヌ刺繍展
	10月	地域活動センターほほえみ西 展示
	11月	『撮り嬢五人衆』 写真展
	12月～1月	しまぶんれい氏の作品展
	2月	『錦大沼モデル撮影会の二人写真展』 神能俊行氏・田淵博氏
3月	ろう写真家11人の秀作展	
手話サロン	第2水曜日	中止

③取り組み

期間	内容
4月～3月	訪問販売：さっぽろ産業振興センター・障害者事業所なごみ 障害者事業所ユニゾン・和田精密株式会社 かでの2.7・デイサービスほほえみ白石 太平南小学校・株式会社アイワード
4月～3月	ハワイスコーン委託製造
9月	オータムフェスト出店
10月	ハロウィーンケーキ販売
12月	クリスマスケーキ販売
2月	雪まつり会場（赤い羽根共同募金ブース）販売

【成果及び目標】

コロナウイルス感染症が5類に移行したこともあり、イベントへの参加が増えた。新たに、オータムフェストや雪まつりへの出店もあり、菓子作りが追いつかないことが増えた。売り上げも伸びていて以前のような活気が戻りつつあるが、通所者の減少もあり、業務は忙しくなっている。来年度の目標としては、新たな通所者の獲得が急務。

3. 共同生活援助事業（指定障害福祉サービス事業）

聴覚障害者グループホームよつば（介護サービス包括型）

（入居定員よつば5名、さくら3名）

障害者総合支援法に基づく共同生活援助事業として、聴覚障害者が安心して生活できる場所の運営を行った。

場所：白石区菊水元町6条1丁目

内容：共同生活を営むべき住居における相談、入浴、排せつまたは食事の介護、その他日常生活上の援助を実施

利用者の就労先または日中活動サービス等との連絡調整や余暇活動の社会生活上の援助を実施

① 利用者数(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
よつば	120	124	120	121	124	120	124	123	155	153	145	155
さくら	87	78	89	84	84	85	88	87	81	47	55	58

② 行事

㊦ 防災訓練 4回実施

月日	場所	参加人数			
		入居者	職員	その他	合計
8月22日	防災センター	7	4	1	12
10月29日	よつば周辺	5	3	3	11
11月12日	白石地区センター	2	2	0	4
3月10日、 20日	よつば内 さくら内	7	5	3	15

㊧ 外出レクリエーション

月	内容・場所	参加者数			
		入居者	職員	その他	合計
6月	メイク講座（さくら内）	2	3	0	5
7月	豊平川ウォーキング(町内会)	4	4	0	8
7月	ふるさと祭り	3	2	0	5
10月	ぶどう狩り(南区)	5	5	0	10
3月	買い物とランチ(新札幌)	7	5	0	12
3月	陶芸体験(円山)	7	5	0	12

*他、入居者個人の希望で、東京の母親に会いに上京、エスコンフィールド（プロ野球交流戦観戦）、開拓の村、新千歳空港、北海道近代美術館など、外出支援を行った。

⑦わたしの日

月	希望	場所	入居者	職員
5月	人力車に乗りたい	小樽	1	1
5月	スヌーピーのお店に行きたい	小樽	1	1
7月	ステーキを食べに行きたい	札幌駅近辺	1	1
9月	家具屋さんでゆっくり買い物したい	ニトリ	1	1
9月	白い恋人パークに行ってみたい	白い恋人パーク	1	1
1月	グループホームでご馳走を食べながら誕生日パーティをしたい	さくら	1	3

*入居者の誕生日頃に合わせ、自分の行きたいところや同行職員の希望をだしてもらい、一緒に計画し願いを実現する日とした。冬季生まれの利用者は、春に行く予定。

③見学者

10月…白石区災害対策委員会、白石区手輪の会
2月…相談室あゆみ

【取り組みと成果】

- ・勤医協札幌病院の栄養士から栄養指導を受け、給食内容と持病に合わせた間食について指導があり改善したところ、血糖値が下がるなどの効果が見られた。
 - ・体力維持・増加を目標に、毎日体操やウォーキング、など行っている。
- 1回行うごとにシールを専用のカレンダーに貼っている。シールを貼ることが励みになり、積極的に運動することに繋がっている。

【目標】

- ・1名退居のため満室になるよう PR 活動に努める。
- ・入居者の体力維持と生活習慣病の予防と改善のため、運動の機会を増やす。
- ・入居者のニーズに合わせた外出を増やし、様々な経験ができる機会を増やしたい。

4. 職員研修

(地域活動支援センター・就労継続支援B型事業所・共同生活援助事業所)

月日	研修内容	担当・講師等	参加者	
			人数	対象
6月6日	盲ろう体験	公益社団法人札幌市視覚障害者福祉協会 視覚障害生活訓練専門職員 小宮 康夫氏	7	GH 職員
7月20日	ライフステージを通じた自閉症支援を考える～教育・医療・福祉との連携と行動障がい予防の観点から～	札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがる	1	GH サビ管

7月28日	インボイス制度理解のために	さくら総合会計 税理士 山本氏	2	作業所 会計職員
8月7日	障がいのある人への虐待防止について	札幌市障害福祉課 主査 品川 匡弘氏	17	B型, GH職員
8月31日	BCP策定義務化対応福祉事務所 BCP作成セミナー	北海道よろず支援拠点 コーディネーター 奥村 真一郎 氏	1	管理者
9月27日	白石地区部会白石全大会企画 BCP策定ワークショップ ～実際にBCPを策定しよう～	北海道よろず支援拠点 コーディネーター 奥村 真一郎 氏	1	B型管理 者
10月2日	災害に備えた地域での支えあい 研修会 ～障がいのある方等の避難支援 を考えよう	同志社大学社会学部教授 立木 茂雄氏氏 他	13	B型,地 活, GH 職員
10月5日	北海道強度行動障がい支援者養成 研修(基礎研修)	社会福祉法人はるにれの里	1	GH管理 者
10月18日 10月23日 11月1日	管理者向け研修・初級	キャリアバンク株式会社	1	GH職員
10月27日	令和5年度 北海道社会就労セ ンター協議会 利用者の工賃向上と就労支援を 考える研修 in 北広島	北海道社会就労センター 協議会主催	1	B型管理 者
10月28日	札幌協全体職員研修 「きこえない人々の暮らしを支える ためには」	社会福祉法人滋賀県聴覚障 害者福祉協会常務理事滋賀 県立聴覚障害者センター所 長 中西 久美子氏	15	B型,地 活, GH 職員
11月7日	管理者向け研修・上級	キャリアバンク株式会社	1	GH管理 者
12月9日 ～ 10日	全国聴覚言語障害福祉研究交流 集会	社会福祉法人埼玉聴覚障害 者協会	2	B型職員
1月24日 ～ 25日	北海道サービス管理者及び 児童発達支援管理責任 者実践研修	NPO 法人きなはれ	1	B型管理 者
2月5日	盲ろう者支援研修	NPO 法人札幌盲ろう者 福祉協会	20	B型,地 活, GH 職員
2月18日	北海道強度行動障がい支援者養成 研修(実践研修)	NPO 法人こころりんく東川	1	GH管理 者
3月4日	身体拘束適正化についての研修 (事例検討)	B型管理者	11	B型職員
3月12日	令和5年度 北海道社会就労セ ンター協議会 第2回施設長・職員研修会	北海道社会就労センター 協議会主催	1	B型管理 者
3月22日	身体拘束適正化についての研修	グループホーム管理者	5	GH職員

5. 聴覚障害者支援センターほほえみ事業運営委員会

期間：2023年4月～2024年3月（年3回実施）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	人数	備考
第1回	2023年5月13日 10：00～12：00	11名	会場開催
第2回	9月 9日 10：00～12：00	11名	会場開催
第3回	2024年1月13日 10：00～12：00	10名	会場開催

構成：団体等個人に運営委員を委嘱

北海道高等聾学校：須貝千慶校長

北海道札幌聾学校：柴田和知代教頭

札幌手話サークル連絡協議会：堀井淑氏、岩崎友紀氏

札幌手話通訳問題研究会：佐藤薫氏、木山夕子氏

聴覚障害者支援センターほほえみ後援会：樋口道雄氏、那須美枝子氏

公益社団法人札幌聴覚障害者協会：高嶋正博副理事長、野口和伸理事
担当職員：

聴覚障害者支援センターほほえみ：センター長 荒井友理
 (ほほえみ作業所)：所長 沖田真紀子
 (ほほえみカフェ)：店長 荒井友理
 (グループよつば・さくら)：管理者 蝦名尚美
 (ほほえみ西)：所長 岩崎剛

内容：3事業（就労継続支援B型・地域活動支援センター・共同生活援助）
の現状報告及び意見交換を行った。

6. 「虐待防止委員会」及び「身体拘束適正化委員会」開催

（さっぽろ聴覚障害者介護支援センターと合同開催）

期間：2023年4月～2024年3月（年1回以上実施）

回	月日	人数	内容
第1回	2024年3月22日 19：00～20：00	9名	各規程の確認、各所事例について、虐待防止の各所の取り組みについて報告と意見交換を行った。

会場：市視聴覚障がい者情報センター

構成：団体等個人に運営委員を委嘱

第三者委員：特定非営利活動法人レストレーションサポート

代表理事 奥村宣久氏

公益社団法人札幌聴覚障害者協会：高嶋正博副理事長、福島太郎監事

担当職員：

聴覚障害者支援センターほほえみ：センター長 荒井友理
 (ほほえみ作業所)：所長 沖田真紀子
 (ほほえみカフェ)：店長 荒井友理
 (グループホーム)：管理者 蝦名尚美
 さっぽろ聴覚障害者介護支援センター：センター長 樋口あやこ
 (ほほえみ白石)：所長 中村千恵
 (ほほえみ手稲)：所長 有山将大
 (ほほえみの郷)：所長 樋口あやこ

7. 聴覚障害者支援センターほほえみ後援会主催の街頭募金活動（参加協力）

日時：2023年9月17日（日）

場所：大通公園周辺および狸小路商店街

II 字幕・手話付き映像作品の制作

1. 聴覚障がい者向け映像資料制作事業（札幌市委託事業）

札幌市の聴覚障害者のニーズを把握し、聴覚障害者への情報提供に資する貸出用ビデオ、札幌市政に関するインターネット配信用動画を制作した。

期間：2023年4月～2024年3月（年間）

場所：札幌市視聴覚障がい者情報センター聴覚障害者情報提供施設事務室

内容：年間33本制作

(1) 講座撮影・教材 6本

分類	タイトル	時間(分)
講座 (3本)	ろう弁護士として	81
	カルチャーナイト2023 手話劇	25
	東京2025デフリンピックに向けて	14
教材 (3本)	きこえない私が困ったこと～公共交通機関で～	17
	手話を読み取ろう2023 ～ひとり語り編～	33
	手話を読み取ろう2023 ～会話編～	21

(2) ニュース 12本

タイトル	時間(分)
札幌聴覚障がい者ニュース(2023年4月号)	22
① 2023年度新規札幌市登録手話通訳者 ② ほほえみ西お楽しみ会	
札幌聴覚障がい者ニュース(2023年5月号)	21
① オノマトペ教室	
札幌聴覚障がい者ニュース(2023年6月号)	33
① 映画「ヒゲの校長」前田浩氏ミニ講演 ② モルック体験	
札幌聴覚障がい者ニュース(2023年7月号)	25
① 第7回ほほえみ祭り	
札幌聴覚障がい者ニュース(2023年8月号)	25
① 怪談「耳なし芳一」と怖い体験	
札幌聴覚障がい者ニュース(2023年9月号)	29
① ほほえみ西でロコモ度測定 ② ともサロン・あさぶで新型コロナ体験談	

札幌聴覚障がい者ニュース(2023年10月号)	26
① 第48回札幌ろうあ者文化祭典	
札幌聴覚障がい者ニュース(2023年11月号)	27
① 南区支部・南区手輪の会創立40周年記念式典	
札幌聴覚障がい者ニュース(2023年12月号)	26
① 篠路分会クリスマス会 ② 手話劇「大きなカブ」とアフタートーク	
札幌聴覚障がい者ニュース(2024年1月号)	65
① 「ほほえみ」の歩みをふり返って	
札幌聴覚障がい者ニュース(2024年2月号)	20
① デフ卓球・木村亜美選手講演会	
札幌聴覚障がい者ニュース(2024年3月号)	34
① 第46回耳の日市民のつどい ② 宮大工・渡辺健太氏インタビュー	

(3) 自主企画制作 5本

タイトル	時間(分)
北海道における手話源流をめぐる考察	49
サインネームと北海道地名表現のいわれ	33
フィンランド生まれのスポーツ モルックをしよう!	13
2023年度札幌市手話動画集(1)	37
2023年度札幌市手話動画集(2)	23

(4) インターネット配信用映像(札幌市政に関する内容) 10本

タイトル	時間
2023年度札幌市手話講習会合同講義	6分40秒
バスと地下鉄の乗継券廃止について	7分12秒
新型コロナウイルス感染症対策(5類移行後)について	7分55秒
札幌市地域活動保険制度について	6分8秒
2023年度札幌市手話講習会修了式 受講生代表手話スピーチ(1)	4分34秒
2023年度札幌市手話講習会修了式 受講生代表手話スピーチ(2)	4分41秒
2023年度 手話言語の国際デー	6分1秒
新型コロナワクチンの無料接種は3/31(日)で終了します	2分31秒
大型ごみ収集FAX申込書が新しくなりました	4分39秒
大型ごみ収集のインターネット受付について	9分25秒

2. 「目で聴くテレビ」用ビデオ制作

認定NPO法人障害者放送通信機構「目で聴くテレビ」番組5本提供。

3. 職員研修

(1) 「令和5年度聴覚障害者向けソフト制作担当職員研修会」

オンライン形式(zoom)で参加(参加者:亀田職員)

開催日:2023年10月17日(火)~18日(水)

ホスト会場:和歌山県聴覚障害者情報センター

研修内容

1 日目: 講義

内容	講師など
視聴覚障害者放送の取り組みについて	総務省情報流通行政局 矢野圭氏
機器整備事業について	映像制作担当者研修委員長
聴覚障害者向け映像制作とは	熊本県聴覚障害者情報提供センター

2 日目: 意見交換

(2) 「令和5年度第1ブロック映像制作担当者研修会」

オンライン形式 (zoom) で参加 (参加者: 亀田職員・幸村職員)

開催日: 2024年2月5日 (月)

ホスト会場: 宮城県聴覚障害者情報センター

内容: 意見交換

4. 令和5年度市長記者会見に係るインターネット配信用映像データ (手話動画付き) 動画制作業務

・令和5年度市長記者会見 開催回数 (合計20回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定例	1	1	2	2	1	2	2	2	1	1	2	2	19
臨時	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	4
合計	2	1	3	2	1	3	2	2	1	2	2	2	23

5. その他の札幌市委託事業 (単発事業)

令和6年新成人向け市長メッセージ動画への手話動画挿入業務
(札幌市市民自治推進課)

III 字幕・手話付き映像作品及び情報機器の貸出等

1. 聴覚障がい者向け映像資料等貸出事業 (札幌市委託事業)

(1) 業務内容

- ①聴覚障がい者の文化享受の増進を図るために、聴覚障がい者に対して、字幕または手話付き映像資料等の貸出を行なった。
- ②聴覚障害者の利便に資する情報機器を展示し、情報機器の啓蒙・啓発を行なうとともに、機器の利用に関する相談に応じた。
- ③パソコンを聴覚障がい者に対し利用開放するとともに、操作方法等の指導を行なった。
- ④聴覚障害者情報提供施設内の受付・案内業務等、聴覚障害者情報提供施設にかかわる事務を行なった。

(2) 期間: 2023年4月～2024年3月

(3) 場所: 市視聴覚障がい者情報センター2階貸出室

(4) 開室時間

曜日	開室時間
月曜日・火曜日	9時15分～17時00分
水曜日・金曜日	9時15分～19時00分
木曜日	9時15分～18時30分

(5) 貸出内容

①聴力障害者情報文化センター（東京）制作ビデオ等

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出・視聴本数	1	18	20	41	20	11	8	7	10	3	7	2	148
利用人数	1	19	5	16	26	14	7	36	4	13	5	1	147
利用件数	1	6	5	17	9	7	8	6	8	2	8	1	78

②札幌市委託事業で札幌協が制作したビデオ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出・視聴本数	51	53	72	91	91	71	45	34	23	34	19	32	616
利用人数	72	58	110	130	146	107	71	66	61	86	29	34	970
利用件数	21	30	42	48	53	37	31	19	16	20	18	21	356

③情報機器利用貸出(ビデオ、DVD閲覧、IT閲覧、「目で聴くテレビ」閲覧、プロジェクター利用) (単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ビデオ閲覧	0	0	0	1	0	0	0	0	5	1	1	2	10
IT閲覧	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
目で聴く閲覧	4	4	4	4	0	0	1	3	2	1	2	0	25
手話学習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プロジェクター	15	27	43	32	37	33	29	19	7	14	20	14	290
OHC	2	2	1	2	1	1	5	4	1	0	2	1	22
合計	22	33	48	39	38	34	35	26	15	16	25	19	350

(6) 貸出対象者：北海道内に住所を有する次の者

- ①身体障害者手帳の交付を受けている聴覚障がい者（児）及び保護者
- ②聴覚障がい者関係団体、学校及び施設
- ③手話通訳に係るボランティアなど聴覚障がい者の福祉向上に関心がある者

2. 全国各地の聴覚障害者団体の機関紙閲覧

全国各地の聴覚障害者団体から送られてくる機関紙をビデオ・情報機器利用貸出室で自由に閲覧できるように随時、整理した。

3. 札幌市視聴覚障がい者情報センター 見学対応

(見学場所：ビデオ・情報機器利用貸出室、スタジオ、聴能言語訓練室、手話通訳者派遣室)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
個人(件)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
人数	0	0	0	0	0	0	1	0	12	0	0	0	13

IV 聴覚障がい者社会生活教室の開催

札幌市聴覚障がい者社会生活教室開催等事業（札幌市委託事業）

聴覚障害者の生活相談及び生活支援に対応し、必要な知識の習得や情報交換を目的とし行なった。

1. 聴覚障がい者社会生活教室の開催

障害者総合支援法の「生活訓練等事業」に基づき、①職場生活②コミュニケーションの方法③家庭の生活設計④育児⑤芸術、文化等一般教養⑥人間関係等に関する内容の教室を開催した。

期間：2023年4月～2024年3月

(年30回開催、うち協会各区支部で2回ずつ開催)

会場：市視聴覚障がい者情報センター・各区民センター他

参加対象：札幌市内存住で身体障害者手帳の交付を受けている聴覚障がい者

(1) 社会生活教室開催状況

月日	テーマ	講師 ※敬称略	参加者
5月20日	ヒグマの生態と対策	坂田一人(札幌市環境局環境共生担当課長)	12名
5月25日	介護予防のための体力測定	生出典子(札幌市中央区介護予防センター)	22名
6月18日	モルック体験	高久雄(札幌市石山スポーツ振興会副会長)	9名
7月1日	終活のためにモノの整理をやろう	澤知里(NPO 葬送を考える市民の会)	9名
7月2日	魅力ある函館の手話	村山ひな子(江別聴力障害者協会)	33名
8月5日	カラスについてパート2	中村眞樹子(NPO 札幌カラス研究会代表理事)	15名
8月6日	モルック教室	高久男(札幌市石山スポーツ振興会副会長)	14名
8月10日	絵手紙教室	谷内茂(絵手紙教室講師)	15名
8月26日	ギョウザ手作り教室	今村三千代(調理師)	13名
10月5日	モルック体験教室	沼澤一夫(手作りモルック制作者 ボランティア)	20名
10月8日	ウォーキング教室	吉田ゆう子(札幌市健康づくりサポーター)	11名
10月22日	地震模擬体験	札幌市市民防災センター	7名
10月28日	ボッチャをやってみよう	石川英仁(ドリームボッチャ札幌)	8名
11月12日	災害・危機に備えて	染谷 洋(札幌市危機管理局 職員)	12名
11月19日	ロコモ体操	向井雅子(札幌研みんなの健康を考える班)	9名
11月19日	紅茶の淹れ方	井手上恵子(認定ティーインストラクター)	9名
11月30日	ろう教育の今昔	越智 誠(北海道ろうあ連盟 教育文化対策部長)	21名
12月3日	アイヌ刺繍でコースター作り	佐々木八代恵(フチヌ工房)	16名
1月13日	正しいメガネの使い方・選び方	神田徳哉(富士メガネ店長)	10名
1月25日	漢字に親しむ	伊勢谷小枝子(とも)	15名
1月27日	スマホ教室	松井亜里沙・内田愛美(株式会社 BWORKS)	12名
2月4日	モルック教室	高久男(札幌市石山スポーツ振興会)	13名
2月8日	2025東京デフリンピックに向けて	木村亜美(デフ卓球選手・合同会社 HOS 所属)	21名
2月22日	冬季災害の備え	藤澤 誠(NPO 防災教育研究センター赤鼻塾)	16名
2月23日	メイクレッスン	谷あつ子(メイクアップ)	16名
3月10日	住宅に潜む火災危険と対策	竹谷朋之(札幌市消防局手稲消防署職員)	13名
3月23日	モルックを体験してみよう	高久男(札幌市石山スポーツ振興会副会長)	35名
3月24日	スポーツウェルネス吹き矢	工藤清司(北海道スポーツウェルネス吹き矢協会)	6名
3月24日	フロアカーリングを体験しよう	伊勢谷郁夫(札幌ろうあ者フロアカーリングクラブ)	16名
3月31日	ボッチャ教室	石川英仁(ドリームボッチャ札幌)	9名

(2) 月別開催回数および参加者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催回数	0	2	1	2	4	0	4	4	1	3	4	5	30
参加者数	0	34	9	42	57	0	46	51	16	37	66	79	437

(3) 支部別参加人数

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲
テーマ「災害関係」		12		12		7		16		13
テーマ「生活①」	9	35	33	12	6	9	9	9	15	14
テーマ「生活②」	9		11		16		8		10	
合計(延べ人数)	18	47	44	24	22	16	17	25	25	27

V 聴能言語訓練の実施

札幌市聴能言語訓練事業の実施(市委託事業)

コミュニケーション手段に著しい障がいをもつ聴覚障がい者に対し、その聴力の損失の程度により、残存聴力の活用、聴覚以外による言葉の習得の訓練を行ない、聴覚障がい者の自立を図るとともに社会の適応を高める訓練を実施した。

期間：年間82回

場所：市視聴覚障がい者情報センター聴能言語訓練室

訓練内容：聴力測定、補聴器のフィッティング、補聴器装用訓練、発声・発語訓練、日常生活訓練

対象：市内に居住する身体障害者手帳の交付を受けている聴覚障がい者・失語症者

①障がい別利用者数(延人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
聴覚障がい	2	1	1	1	0	1	3	2	3	3	3	0	20
中途失聴	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	3	19
重複障がい	6	8	9	8	6	7	6	4	6	6	7	4	77
言語障がい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
失語障がい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	9	10	11	10	7	9	11	8	11	11	12	7	116

②内容別利用者数(延人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内容概説	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
聴力検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
構音	3	2	2	1	0	2	5	4	4	4	5	3	35
総合練習	6	8	9	8	6	6	5	4	6	6	7	4	75
読話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

その他	0	0	0	1	1	1	1	0	1	1	0	0	6
合計	9	10	11	10	7	9	11	8	11	11	12	7	116

VI 電話リレーサービス事業

電話リレーサービス事業の実施

(一般財団法人日本財団電話リレーサービス委託事業)

1. 聴覚障害者が一人で電話を掛けられるよう電話リレーサービスの提供体制を構築することで、聴覚障害者の地域生活における自立の推進に資することを目的に実施した。

事業内容:聴覚障害者等による電話の円滑化に関する法律に基づいて聴覚障害者・難聴者・発話困難者の手話または文字ときこえる人の音声を双方向に通訳するサービスを実施。(電話リレーサービス通訳オペレーション業務)

サービス提供日時:月曜～金曜 午前9時～午後7時

1日10時間(土・日・祝日・年末年始は休み)

期間:2023年4月1日～2024年3月31日

対象:きこえる人および電話リレーサービスの利用申請をした聴覚障害者

説明会・研修会	会場	月日
電話リレーサービス全体定例会 (全国の電話リレーサービス実施事業所)	オンライン	4月17日(月) 5月18日(木) 7月6日(木) 9月4日(月) 12月14日(木) 2024年 3月13日(水)
電話リレーサービス手話事業所定例会 (全国の電話リレーサービス手話実施事業所)	オンライン	6月6日(火) 8月16日(水) 10月4日(水) 2024年 2月1日(木)
電話リレーサービス手話事業所・指導者研修 (全国の電話リレーサービス手話実施事業所)	一財)日本財団電話リレーサービス	9月15日(金)
電話リレーサービス「札幌」オペレーター研修会	オンライン及び 情報センター	7月8日(土)
	情報センター	12月9日(土)
電話リレーサービス「札幌」事業説明会及び オペレーター研修会	情報センター	2024年 3月9日(土)
令和6年度電話リレーサービス業務委託事業者 説明会(全国の各事業所)	オンライン	2024年 1月19日(金)

2. 電話リレーサービス普及啓発事業

説明会・研修会	会場	月日
令和6年度電話リレーサービス普及啓発員事業説明会	オンライン	2024年 2月7日(水)

Ⅶ 聴覚障害者情報提供施設事業運営会議

構成：札幌市視聴覚障がい者情報センター・札幌手話サークル連絡協議会・札幌手話通訳問題研究会・（公社）札幌聴覚障害者協会

期間：2023年4月～2024年3月（年間2回開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月 日
1	2023年7月24日（月）対面形式
2	2024年1月15日（月）対面形式

時 間：15：00～17：00

出席者：札幌市視聴覚障がい者情報センター 椎名政俊所長（※欠席）
札幌手話サークル連絡協議会 宮本英行会長
札幌手話通訳問題研究会 太田利実副運営委員長
（公社）札幌聴覚障害者協会：渋谷雄幸理事長、京野大樹常務理事兼事務局長、宮内博子理事、亀田雅春職員

内 容：聴覚障害者情報提供施設で行う事業（貸出・制作・社会生活教室・聴能言語訓練）、カルチャーナイト、情報センターの備品の更新などについて、報告・要望・意見交換などを行った。

Ⅷ その他（会議等）

①特定非営利活動法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会 2023(令和5)年度総会及び第19回(通算第31回)施設大会

日時：2023年6月23日（金）9：45～15：15

場所：やまなしプラザ オープンスクエア（山梨県甲府市）

内容：（午前）2023年度 総会・第19回 施設大会
（午後）シンポジウム

「聴覚障害者情報提供施設における相談支援のあり方」
厚生労働省 自立支援振興室 室長補佐 富原博 氏
全日本ろうあ連盟 理事 吉野幸代 氏
東京手話通訳等派遣センター センター長 森せい子 氏

出席者：京野大樹常務理事兼事務局長（札幌市視聴覚障がい者情報センター所長代理）、渋谷梯子課長

②全国聴覚障害者情報提供施設協議会令和5年度第1ブロック（北海道・東北地区）活動研修会

日時：2023年11月2日（木）10：30～15：30

場所：宮城県聴覚障害者情報センター（オンライン参加）

内容：午前 協議 ブロック内の委員の輪番制の確認等
意見交換 「相談支援事業」の実施状況について
午後 講演「聴覚障害者情報提供施設における相談支援について」
講師 社会福祉法人東京聴覚障害者福祉事業協会・東京手話通訳等派遣センター 森せい子 氏

出席者：札幌市視聴覚障がい者情報センター 椎名政俊センター長、
京野大樹常務理事兼事務局長、渋谷梯子課長

③カルチャーナイト2023

日時：2023年7月21日（金）16：00～19：00

聴覚障がい者の情報機器コーナー

手話・字幕付き映像や目で聴くテレビの閲覧、聴覚障害者の日常生活用具の展示、テレビ電話体験

【公3】啓発・広報事業

I ろうあ者への理解促進を図る「耳の日市民のつどい」の開催

3月3日の耳の日を記念して、聴覚障害者と手話を学ぶ市民、また一般の市民の方々と手を取り合って明日への生きる喜びを分かち合い、市民に対して、ろうあ者の存在と理解を広げる啓発を目的として行った。

耳の日事業「第46回耳の日市民のつどい」

期日：2024年3月3日（日）

会場：道立道民活動センター[かでの2・7] かでのアスビックホール

内容：記念講演「宮大工の規矩術？聞く術？」

講師：渡辺 健太 氏（(株)若松社寺 代表取締役）

参加人数：来場型246名（一般 127名、会員 117名、高校生以下2名）

オンライン型22名（一般 20名、会員 2名、高校生以下 0名）

対象：聴覚障害者、賛助会員、一般市民等

記念講演では、(株)若松社寺 代表取締役 渡辺 健太様をお迎えして、ハイブリッド型（来場とオンライン）での方法で開催した。

生い立ちや宮大工になるまで苦労したこと、日常のコミュニケーション手段などの話も交えて話していただいた。

建築に関しては、寺だけでなく市からの委託なども請け負ったとお話があり、また、道具や設計などの専門用語についても分かりやすくホワイトボードを使って説明をしてくださった。コミュニケーション手段も講師が使用しているアプリなどを紹介してくれた。法律についても説明していただき、講師から「色々な方法を使って壁があっても諦めずに自分の目標などに向かってやり通してほしい」とお話があった。

参加者からも「もっと詳しく知りたかった、宮大工になるまで色々と大変だったと思うが素晴らしい」「もっと詳しく宮大工について聞きたい」という好評の声が沢山あった

最後にアトラクション『手話クイズ』も大いに盛り上がった。

II ろうあ者と聞こえる人の交流の場となる「札幌ろうあ者文化祭典」

私たちろうあ者のコミュニケーションと文化の窓であり、ひいては社会的権利とも深い関わりを持つ「手話」を、福祉関係者・教育関係者・医療及び職場の方々など多勢の市民に理解していただき、お互いに自由に心を通わせることをめざして企画を立てた。

1. 文化祭典事業「第48回札幌ろうあ者文化祭典」

期日：2023年10月1日（日）

会場：札幌市身体障害者福祉センター

対象：聴覚障害者、手話サークル員、手話通訳関係者、手話を学ぶ市民等

2023年度は4年ぶりに「復活だ（シュワッチ）手話があふれる かがやく現在（いま）」をテーマに開催しました。メイン会場である体育館は多数の模擬店およびグルメコーナー、大会議室では、各団体によるポスター展示・写真展、ふまねっと体験コーナーを設置しました。また「体験手話教室」・「体験通訳場面」を行い、手話関係者に限らず一般の市民の方がたくさんご来場され、言語である「手話」に触れ合う様子が見受けられ、「手話」がたくさんあふれ、かがやく現在を体現することができました。

2. 札幌ろうあ者文化祭典実行委員会の開催

期間：2023年6月～10月（5回）

場所：市身体障害者福祉センター

回	月日	内容
1	6月20日（水）19時～	テーマ案、電気の使用、新型コロナウイルス対策について
2	7月18日（水）19時～	テーマ決定、バザー、各室の配置について
3	8月29日（水）19時～	お楽しみくじ、ゴミの色分け、配置について
4	9月25日（火）19時～	当日の流れ確認
5	10月17日（水）19時～	反省会

Ⅲ 聴覚障害者に関する研修会等の開催

聴覚障害者の福祉増進のために必要な調査と研究を進め、聴覚障害者への理解を深める啓発活動を進めるために研修会へ参加した。

1. 聴覚障害者の福祉増進に寄与する研修会、フォーラム等の開催参加

(1) 公益社団法人北海道ろうあ連盟道央ブロック研修会

期日：2023年7月16日（日）

場所：札幌市視聴覚障がい者情報センター

テーマ：「全国ろうあ者大会 聴覚障害者写真コンテスト入賞に関して」

講師：河村 明子 氏（デフ・フォトクラブ代表）

出席者：渋谷雄幸理事長、高嶋正博副理事長、中和彦副理事長、京野大樹常務理事兼事務局長、越智誠理事、森恵子理事、佐藤正昭理事、金原浩之理事、福岡静枝理事、野口和伸理事、新田由香理事、福島太郎監事

(2) 2023年度公益社団法人北海道ろうあ連盟 合同研修会への参加

期日：2023年7月29日（土）・30日（日）

場所：札幌市視聴覚障がい者情報センター

他、オンライン参加（9協会）

内容：1日目 組織部・情報コミ部担当理事 意見交換会

①「情勢と課題」（組織部）

②「情勢と課題」（情報・コミュニケーション部）

③「全日本ろうあ連盟 第11回評議員会の報告」

2日目 ①「ワークショップ① 地域でできること・連盟と一緒に
取り組むことなど」

②「ワークショップ② 組織力を高めるために」

派遣者：京野大樹常務理事兼事務局長、佐藤正昭理事、福岡静枝理事、
佐藤尚行理事、新田由香理事、泉隆行理事

(3) 2023年度 北海道ろうあ連盟スポーツリーダー育成 研修会

主催：公益社団法人北海道ろうあ連盟スポーツ委員会主催

期日：2024年1月21日（日）

場所：道立道民活動センター（かでの2・7）730研修室

講演「デフスポーツ・サポーターからの共生社会の実現」

講師：山田 尚人氏（(一般)全日本ろうあ連盟スポーツ委員会事務局長）

派遣者：中和彦副理事長、京野大樹常務理事兼事務局長、越智誠理事、
金原浩之理事、宮内博子理事、

(4) 第26回ろうあ者労働問題フォーラムへの参加（主催：北ろう連）

期日：2023年10月29日（日）

場所：道立道民活動センター（かでの2・7）730会議室

講演：「持続可能で働きやすい職場でいるには？」

講師：吉野 幸代 氏（(一般)全日本ろうあ連盟 福祉労働委員会）

派遣者：高嶋正博副理事長、中和彦副理事長、京野大樹常務理事兼事務局
長、宮内博子理事、越智誠理事、新田由香理事

(5) 第24回ろう教育フォーラムin北海道への参加

期日：2023年8月6日（日）

場所：道立道民活動センター（かでの2・7）大会議室

講演：「きこえない子供たちの明るい未来のために」

講師：菅原 仙子 氏

（東京都立葛飾聾学校 主任教諭 幼稚部・乳幼児教育相談担当）

内容：午前 講演

午後 パネルディスカッション

派遣者：高嶋正博副理事長、佐藤正昭理事

2. 第16回札幌合同研修会（札幌協・札幌研）

(1) 第16回札幌合同研修会の開催（ハイブリッド形式）

札幌協・札幌研がともに研修会を開催し、共通する課題に取り組み、
今後の各団体の組織的活動に活かすことを目的として開催する。

期日：2023年11月25日（土）・26日（日）

会場：札幌市視聴覚障がい者情報センター 大会議室・研修室

参加者：147名

内容：1日目 講演「手話はひとつ ～手話への思いはたくさん～」

2日目 パネルディスカッション

「手話言語について どう説明する？」

～今、わたしたちに何ができるのか？～

講師：加藤 三保子 氏（豊橋技術科学大学特任教授）

【組織部】

2022年度の参加者の状況を考慮して2023年度もハイブリッド形式（対面・オンライン）の開催をすることにした。加藤講師より「手話はひとつ」テーマを講演いただき、午後はパネルディスカッションを行い、手話に対する質疑や意見が行なわれ、手話の種類について学ぶ良い機会だった。来年度の内容について実行委員会にて検討していきたい。

IV 「H S K 札聴障（札幌聴覚障害者協会新聞）」の発行

「H S K 札聴障」の発行事業

聴覚障害者のため幅広く福祉を提供するとともに聴覚障害者に対する理解と啓発を促すため、機関紙「H S K 札聴障」を発行した。

期間：2023年4月～2024年3月（毎月1回発行・年間12回）

発行部数：650部

対象：札幌市内の聴覚障害会員、賛助会員、購読会員、行政、関係機関等

2023年度発行内容：以下、1面見出し

4月号	第45回耳の日市民のつどい 若いろう弁護士が語る!!311名が集う 弁護士になるまで～なつてからいまを語る!!
5月号	収束までの見通しが見えてきた!? 新型コロナウイルス感染症2類から5類に移行するとどうなるの?
6月号	手話ブーム!?定員満員御礼!? 札幌市各種手話講座開講!!
7月号	ろうあ運動には会員の皆様の力が必要!! 第13回公益社団法人札幌聴覚障害者協会定時社員総会開催
8月号	女性部創立から50年を迎え…これまでの活動の思い出を振り返った1日に 祝 女性部創立50周年記念式典及び祝賀会
9月号	～北ろう連主催合同研修会を通して課題を知る～ 今のろうあ運動に何を求めるのか
10月号	第64回全道ろうあ者大会in岩見沢 空知の地に740名が集う!!
11月号	再会を待ち望んだ4年ぶりの復活だ!! 第48回札幌ろうあ者文化祭典 ☆手話があふれる かがやく現在(いま)を実感できた1日に☆
12月号	札聴協・札通研共催第16回札幌合同研修会開催
1月号	2024年新年のあいさつ
2月号	年が明けた途端に能登半島地震が発生!! いつ起きてもおかしくない災害に備えよう
3月号	速報!!第46回耳の日市民のつどい開催 宮大工について厳しい世界を語る

【広報部】

- ・新年号を除き、毎号、札聴協事業に関する情報を掲載した。随時、札幌聴覚障害者協会各区支部、専門部等の社会生活教室の呼びかけや報告を掲載しました。

- ・10月号は他業務の都合上、発行が大幅に遅れました。大変申し訳ございませんでした。
- ・新旧理事・監事によるエッセイリレーが一段落しました。
- ・福祉クラブ「とも」からの寄稿を7回連続連載しました。
- ・4コマ漫画は担当者の事情により一時休止したが、担当者を変更し、新たな内容で再開しました。
- ・感想や掲載希望などありましたら、事務局までお寄せください。

V インターネットでの各種情報の提供

情報を随時更新し、聴覚障害者への理解を深め、札幌協の事業を広める啓発活動を独自に制作した内容でインターネットにより進めた。

1. ホームページ「公益社団法人札幌聴覚障害者協会」
「ワードプレス」を活用し、各部署において、ホームページを更新してきました。
ただのPRではなく、動画を活用して申込増につながるよう、努力してきました。

2. Instagram（インスタグラム）の活用
SNSを活用してPRを行うために、公益社団法人札幌聴覚障害者協会のInstagram（インスタグラム）を開設し、写真だけではなく、動画も活用し情報発信に努めました。
フォロワー数（2024年3月29日現在 124名）

3. 札幌協情報メール
メール配信希望の会員に対し、情報提供のメールを随時発信した。
市長会見にこだわらずに行事に関するご案内や、詐欺等にかかわる注意のメールを発信していった。

2023年度発信数：No. 1172～1325 153件
※登録者数：正会員 117名・賛助会員 49名

【収益等事業】

【収1】出版事業

1. 出版事業
手話を学ぶために必要な書籍や聴覚障害に関する書籍を販売した。
※下記に特に売り上げの多かった書籍を掲載。（2023年度売上状況）

書籍名	発行者	販売数
I 小売販売		1,284冊
1) 全日本ろうあ連盟発行書籍		1,008冊
① 手話を学ぼう 手話で話そう（入門・基礎・手話通訳）		453冊
② 【改訂版】手話を学ぼう手話で話そう（指導書・講義テ）		232冊
③ ハンドブック6種		204冊

④ わたしたちの手話辞典Ⅰ・Ⅱ	60冊	
⑤ 新しい手話（2022/2023）（2024）	59冊	
2）北海道ろうあ連盟発行書籍	205冊	
① 2024年手話カレンダー 大	75枚	
② 2024年手話カレンダー 小	130枚	
3）その他団体等発行書籍	71冊	
① 手話・言語・コミュニケーションNo.11, 12	全国手話研修センター	71冊
Ⅱ 札幌聴覚障害者協会制作販売	1,047冊	
さっぽろの手話（三訂）	795冊	
さっぽろの手話（医療編）	69冊	
さっぽろの手話（販売・接客編）	50冊	
さっぽろの手話見るエッセイ第一巻	95枚	
さっぽろの手話見るエッセイ第二巻	38枚	

今年も各講習会、研修会など対面で開催し、テキスト、各種書籍の販売は好調。札幌市講習会の受講生数が増えたのも売上増につながっている。さっぽろの手話セット販売【医療・販売】（1,100円）も人気がある。新刊もハンドブックシリーズが立て続けに発売になり好評。

【収2】飲料自販手数料事業

1. 飲料自動販売手数料事業

公共施設等に飲料自動販売機を設置し、施設利用者の利便性を図るとともに、その手数料を得る事業を行なった。管理及び補充作業は清涼飲料水販売業者に委託した。

自動販売機設置個所は31ヶ所。（2023年度）

	設置先	区	飲料会社		設置先	区	飲料会社
1	市身体障害者福祉センター	西	キリン・大沼・PS・ココロ	17	栄地区センター	東	キリン
2	北区体育館	北	PS	18	厚別南地区センター	厚別	大沼
3	東区体育館	東	大沼	19	手稲曙温水プール	手稲	キリン
4	豊平区体育館	豊平	大沼	20	もいわ地区センター	南	大沼
5	南区体育館	南	大沼	21	白石東地区センター	白石	大沼
6	西区体育館	西	キリン	22	星置地区センター	手稲	大沼
7	清田区民センター	清田	キリン	23	白石区複合庁舎	白石	キリン
8	手稲コミュニティセンター	手稲	キリン	24	清田区体育館・プール	清田	大沼
9	市社会福祉総合センター	中央	キリン（3カ所）	25	清田区役所	清田	キリン
10	手稲区役所	手稲	キリン	26	札幌市下水道河川局	豊平	大沼
11	厚別区役所	厚別	大沼	27	中島体育センター	豊平	キリン

12	平岸プール	豊平	キリン (2カ所)	28	すみかわ地区センター	南	P S
13	中央図書館	中央	キリン	29	手稲区民センター	手稲	キリン
14	西野地区センター	西	キリン	30	スポーツ交流施設 (つどむ)	東	サントリー
15	中央健康づくり センター	中央	大沼	31	札幌市視聴覚障がい 者情報センター	中央	キリン・ 大沼
16	はっさむ地区 センター	西	キリン				

※キリン=キリンビバレッジ、コーラ=コカコーラ、

P S = P S ビバレッジ、サントリー=サントリービバレッジソリューション

2023年度は、新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行したことから売上も戻りつつあり、猛暑の影響により、夏の間は売上が増加しています。

また改修工事のため、はっさむ地区センターが7月より、中央健康づくりセンターが2025年春ごろまで休館するため、その期間は収入はありません。

【収3】 さっぽろ聴覚障害者介護支援センター事業

I デイサービスほほえみ白石

①地域密着型通所介護 及び 第1号通所事業

(介護保険指定事業 及び 札幌市介護予防・日常生活総合支援事業)

※指定開始日 2020年6月1日・2020年5月1日

②共生型生活介護 (障害者総合支援法)

※指定開始日 2020年4月1日

期間：2023年4月～2024年3月 (年間)

場所：白石区菊水元町5条1丁目9-8

1. 事業内容

利用者一人一人の意思及び人格を尊重し、手話でのコミュニケーションを保障しながら利用者の立場に立ったサービスを実施する。利用者の心身機能の維持向上や社会的孤立感の解消並びに家族の身体的、精神的介護負担の軽減を図り、利用者の住み慣れた地域での在宅生活を支援した。

(1) 地域密着型通所介護及び第1号通所介護

要介護・要支援状態にある人が、可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、デイサービスに通い、健康チェックや機能訓練、入浴、レクリエーション等の支援を行った。

(2) 共生型生活介護

障害がある人が自立した日常生活または社会生活を送ることができるよう、デイサービスに通い、食事や入浴、レクリエーションの他、身体機能や生活能力の維持向上のための訓練、創作活動等の支援を行った。

【2023年度 登録者の推移・通所回数内訳】

月	登録者数			通所サービス利用延べ回数			
	新規	終了	合計	介護保険		障害福祉	合計
				通所介護	総合事業	生活介護	
4月	1	0	22	70	31	12	113
5月	0	0	22	68	31	12	111
6月	0	1	21	88	26	12	126
7月	0	1	20	81	22	11	114
8月	0	1	19	73	23	11	107
9月	3	0	22	81	24	8	113
10月	0	0	22	84	27	11	122
11月	0	1	21	75	22	11	108
12月	1	1	21	83	21	11	115
1月	1	0	22	83	23	7	113
2月	0	1	21	86	20	8	114
3月	0	0	21	86	23	12	121
計	6	6	21	958	293	126	1,377

2. 利用者の状況

【居住区別】

住居区	白石	東	豊平	北	手稲	厚別	南	清田	中央	西	計
(人)	2	4	2	4	0	6	0	0	3	0	21

【要介護度・障害区分別】

要介護度 (人)	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
		2	3	10	3	1	0	
障害区分 (人)	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	その他	計
	0	1	0	0	0	1	0	

【性別・年齢別】

年代 (人)	60代	70代	80代	90代	平均	64歳～ 92歳	男	女
		2	8	10	1			

3. デイサービスほほえみ白石運営推進会議

期間：2023年4月～2024年3月（年間2回開催）

会場：デイサービスほほえみ白石

構成：利用者・町内会・地域包括支援センター・ほほえみ白石職員

月日	実施事業名等	内容概要
9月 26日	第1回運営推進会議	ほほえみ設立から現在までの経緯報告 事業・活動報告、利用者アンケート報告
2月 13日	第2回運営推進会議	事業・活動報告、ヒヤリハット事故報告 情報・意見交換

4. 研修受講

職員の資質向上のため、各種研修に参加及び自主開催し、研鑽に努めた。

	月 日	内 容	受講者数
外 部	6月15日～ 7月20日	障がい者講師養成講座（北海道社会福祉協議会）	1
	10月2日	災害時の障がい者の避難支援（札幌市委託事業）	1
内 部	4月28日	介護保険制度について	6
	5月25日	急変時の対応方法	6
	7月13日	急変時の対応方法（1）	6
	7月27日	急変時の対応方法（2）	6
	8月10日	急変時の対応方法（3）	5
	10月28日	法人職員研修「聴覚障害者にかかわる事業」	6
	12月7日	感染症対策について 法令遵守（札幌市集団指導の周知報告）	6
	12月21日	虐待防止について「不適切ケア」	6
	1月19日	施設研修（ほほえみの郷）	1
	2月8日	個人情報保護について	6
	3月28日	身体拘束の排除のための取り組み	6

5. 行事等企画

利用者の余暇活動の支援を目的として、様々な企画を実施した。

月	日	行事名	場所
4	4	ミニ講座「健康のために水を飲もう」	デイルーム
	10～14	開所3周年記念 食事会	デイルーム・ ほほえみカフェ
5	8～12	お花見	白石こころード・ 白石複合庁舎
6	8	ミニ講座「熱中症予防」	デイルーム
	14	ほほえみの郷の見学と交流	ほほえみの郷
8	4～10	納涼祭	デイルーム
	21	ミニ講座「薬について」	デイルーム
9	5	ミニ講座「転倒・骨折予防」	デイルーム
	11.14	手料理	デイルーム
	11～15	敬老会・おやつ作り（どら焼き）	デイルーム
	19～22	社会見学	サッポロビール園
10	2～6	体力測定	デイルーム
11	7	ミニ講座「血圧と脈のしくみ」	デイルーム
	13～17	社会見学	イオン苗穂店 札幌市民防災センター
12	22～28	冬至・クリスマス・年越し	デイルーム
1	4～5	新年会	デイルーム
2	1～2	節分	デイルーム
	6	ミニ講座「ヒートショックって何？」	デイルーム
	13～15	バレンタイン・おやつ作り（ケーキ）	デイルーム
	29	ひなまつり	デイルーム
3	1		

※他、毎月1回「買い物外出レク」

6. 職員等体制（2024年3月31日現在） 計7名

常 勤 2名	管理者兼生活相談員 1名 生活相談員兼介護職員 1名
非常勤 5名	看護職員 1名 介護職員 4名（内、送迎専門職員1名）

7. 地域連携

11月21・22・24日にボランティア見学会を実施し、ボランティアの受入れを積極的に行った。現在、7人がボランティア登録。デイサービスの運営、活動の大きな支えとなっている。

8. 防災対策

災害の発生を想定した訓練を、ほほえみ作業所と合同で行った。

7月11日 共同避難訓練（地震・風水害に備えた避難訓練、防災学習）

10月3日 防火総合訓練（火事に備えた避難訓練、通報・消火訓練）

2月27日 防火総合訓練（消火・通報訓練）

9. 運営指導

2023年12月14日、札幌市介護保険課による文書指導を受け、内容に沿った改善を図った。

10. 交通費の値上げ

近年の燃料費の著しい高騰をふまえ、送迎に係る交通費の見直しを図り、サービス提供実施区域外（白石区外）に居住する利用者に対する交通費を改定した。（令和6年4月1日より）

【改定内容】	・ 5 km未満	片道 75円	→	<u>125円</u>
	・ 5 km以上10km未満	片道100円	→	<u>150円</u>
	・ 10km以上	片道125円	→	<u>175円</u>

※ サービス提供実施区域内である白石区在住の利用者からは交通費を徴収していない。

11. 今年度の成果・反省

(1) 感染や転倒等の予防対策を図りながら、利用者の健康維持と身体の状態にあわせたレクリエーションを工夫し、安心して楽しく過せるように努めた。しかし、新規の利用登録があっても、病気や高齢による入院や他施設へのショートステイ等の理由で利用をお休みする方が多く、稼働率は低下傾向にあり運営は厳しい状況となっている。引き続き、関係機関との連携や施設周知に努めていく。

(2) デイサービスの終了理由で一番多いのは施設への転居である。近年は11人のうち7人の利用者がほほえみの郷に入居することができた。施設の入居までをつなげるデイサービスとして、家族や関係機関と連携を取りながら在宅生活を支援した。今後も利用者や家族等への情報提供と相談援助を継続していく。

(3) デイサービス利用時のバイタル測定、体重、食事摂取量、服薬内容等の記録データの整理、高血圧が心配な利用者には個別に血圧手帳を作成した。また、利用中の急変に備えて作成した全利用者の医療情報ファイルの更新・整備を行った。この積み重ねによって利用者の異常に早く気付くことができ、家族およびケアマネジャー等の関係機関に連絡し、随時対応す

ることができた。今後も職員間で日々の情報共有と観察を行い、異変時にも冷静な対応ができるよう努めていく。

(4) 感染症や自然災害時の業務継続計画（BCP）の策定に取り組んだ。また、札幌市各区から利用者を送迎する際は、常に安全運転の励行を行い、無事故無違反を達成できた。引き続き継続していく。

II サービス付き高齢者向け住宅事業

高齢の聴覚障害者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、聴覚障害者向けの設備を完備し、コミュニケーションの配慮が行き届く住宅を開設し、管理・運営を行った。

サービス付き高齢者向け住宅ほほえみの郷

登録番号：札一16第12号（2016年8月19日登録）

期 日：2023年4月～2024年3月

場 所：札幌市手稲区稲穂2条7丁目5-7

介護事業：小規模多機能型居宅介護事業所併設

提供サービス：安否確認、生活相談、食事提供

1. 入居状況（2024年3月31日現在） 定員：20戸／24名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当月入居数(人)	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
当月退去数(人)	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0
入居戸数計(戸)	18	18	19	18	18	19	19	18	18	18	17	18
入居者数計(人)	19	19	20	19	19	20	20	19	19	19	18	19

2. 入居者状況（2024年3月31日現在）

【性別・年齢別】

年代	60代	70代	80代	90代	平均	71歳～ 97歳	男	女
人数	0	3	9	7	85.68歳			9

【要介護度別】 *平均要介護度：要介護1.05

要介護度(人)	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
	2	1	3	6	4	2	0	1	

【夫婦等世帯数】

夫婦世帯	2世帯	単身世帯	15世帯

3. 職員等体制（2024年3月31日現在） 計17名

常勤兼務 4名	所長 兼 生活相談員 1名 生活支援員 3名 ※いずれも、ほほえみ手稲介護職員と兼務
非常勤兼務 6名	生活支援員 6名 ※いずれも、ほほえみ手稲介護職員と兼務

アルバイト 7名	食事準備・片付 6名 清掃 3名（うち2名、食事準備・片付と兼務）
----------	--------------------------------------

4. 今年度の成果・反省

- (1) 入居者の介護度が増し、「施設化」が懸念される。年々、介護量が増すことは当然で、ご本人やご家族の意向に最大限沿えるよう努めている。ただ、あくまで「住宅」なので、自宅で生活できるか否かが、受けられるかどうかの基準となる。医療的ケアの度合いや、マンパワーによる理由で、対応できずお断りせざるを得ないこともある。意思疎通がはかれる住まい環境が札幌市には他にないことが、今後の大きな課題となる。
- (2) 居室内含め設備の経年劣化、故障が顕著に見られるようになってきた。耐用年数を超える設備も多くなり、今後ますます修繕費がかかることが予想される。
- (3) 入居者や職員が札幌協関連事業や近隣地域の行事に参加する等、施設外との関わりを持てる取り組みがなかなか進まない。聞こえる聞こえないに関わらず、地域に愛される取り組みに努めたい。

Ⅲ 小規模多機能型居宅介護事業

サービス付き高齢者向け住宅ほほえみの郷に併設し、介護の支援が必要な入居者及び近隣地域の住民に対し、サービスを提供した。

小規模多機能型居宅介護ほほえみ手稲（事業所番号 0190400697）

指定開始日：2017年4月1日（指定通知書発行日：2017年3月27日）

事業：地域密着型小規模多機能型居宅介護及び
介護予防小規模多機能型居宅介護

場所：手稲区稲穂2条7丁目5-7

サービス付き高齢者向け住宅ほほえみの郷 1階

面積：100.40㎡

定員：登録24名、通い12名、泊り4名

1. 登録状況について

【登録状況の推移】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録者数(人)	19	19	19	19	19	20	19	19	20	19	19	20
登録率 (%)	79.2	79.2	79.2	79.2	79.2	83.3	79.2	79.2	83.3	79.2	79.2	83.3
新規	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0	1
再開	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
休止	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
終了	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1	0	0

【登録終了者の状況等】（2024年3月31日現在）

区分	施設入所	入院	その他	計
人数(人)	2	0	2	4

2. 登録者の状況（2024年3月31日現在）

【住居区別】

住居区	白石	東	豊平	北	手稲	厚別	南	清田	中央	西	計
(人)	0	0	0	0	18	0	0	0	0	2	20

【要介護度別】 *平均要介護度：要介護1.72

要介護度 (人)	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
		2	4	5	6	2	0	

【性別・年齢別】

年代	60代	70代	80代	90代	平均	71歳～ 97歳	男	女
人数	0	3	11	6	85.1歳			9

3. サービス提供状況について

【サービス利用延べ回数及び一人当たりの月平均利用回数】

	通い	訪問	宿泊	延回数	月平均回数
4月	406	1669	0	2075	69.1
5月	379	1661	0	2040	65.8
6月	384	1672	0	2056	68.5
7月	389	1689	0	2078	67.0
8月	389	1677	0	2066	66.6
9月	344	1496	0	1840	61.3
10月	391	1641	0	2032	65.5
11月	368	1531	0	1899	63.3
12月	365	1478	0	1843	59.4
1月	405	1460	0	1865	60.1
2月	322	1345	0	1667	59.5
3月	346	1429	0	1775	57.2
計	4488	18748	0	23236	763.3

※月平均回数＝サービス提供延べ回数÷（当月日数×登録者数）×7

※月一人当たり平均利用回数は、週4日以上のみ

4. （介護予防）小規模多機能型居宅介護（短期利用型）

利用者の状態や家族等の事情により緊急に利用することが必要であると認め、登録定員の範囲内であり、サービス提供に支障がない場合、空いている宿泊室等を利用し、短期間のサービスを提供するものである。

今年度は利用がなかった。

5. 自家用有償旅客運送（福祉有償運送）

小規模多機能型居宅介護の登録者を会員とし、設定した料金において、車で数分の距離にある医療機関等へ個別輸送を行なった。

期間：2023年4月～2024年3月

対象：小規模多機能型居宅介護の登録者

体調、ケガ、筋力低下等による歩行困難などで、外出時に介助を要する人

料金：

距離	料金	備考
1km未満	100円	近隣の医療機関・店舗
1km～2km未満	300円	
2kmから500m毎	プラス50円	

【稼働状況】

	回数	距離 (km)	目的		
			受診	買い物	その他
4月	0	0	0	0	0
5月	3	31.5	2	1	0
6月	6	17.0	6	0	0
7月	8	38.0	7	0	1
8月	4	13.0	4	0	0
9月	6	49.8	6	0	0
10月	14	30.0	14	0	0
11月	7	34.7	7	0	0
12月	6	12.6	6	0	0
1月	7	55.9	7	0	0
2月	6	54.7	6	0	0
3月	3	17.4	3	0	0
計	70	354.6	68	1	1

6. 小規模多機能型居宅介護ほほえみ手稲運営推進会議

期間：2023年4月～2024年3月（年間6回開催予定）

会場：ほほえみの郷1階 居間・食堂

構成：利用者・町内会・地域包括支援センター・手稲区支部・

手稲区手話サークル・ほほえみの郷職員・ほほえみ手稲職員

月日	実施事業名等	内容概要
5月17日	第1回運営推進会議	事業報告・自己紹介・今年度の予定お知らせ・意見交換
7月11日	第2回運営推進会議	事業報告・夏の外出レクに際するボランティアの募集・意見交換
9月13日	第3回運営推進会議	事業報告・秋祭り不開催のお知らせ・意見交換
11月8日	第4回運営推進会議	事業報告・管理者出張の事業報告・意見交換
1月10日	第5回運営推進会議	事業報告・困難事例に対する意見収集・外部評価の配布・意見交換
3月13日	第6回運営推進会議	事業報告・来年度へ向けた取り組み説明・意見交換

※年6回開催、奇数月に開催

7. 研修受講

	月 日	内 容	受講者数
外部	3月16日	終末期ケア	2
内部	6月19日	虐待防止と身体拘束	6
	9月11日	認知症について	7
	10月28日	法人職員研修「聴覚障害者にかかわる事業」	5
	12月20日	介護における倫理と法令遵守	7
	隔週木曜日	手話部	複数

8. 行事等企画（ほほえみの郷・ほほえみ手稲）

入居者、利用者の余暇活動の支援を目的として、様々な企画を実施した。新型コロナウイルス感染予防に留意して行った。

月日	内容	場所	参加	内訳			
				手稲	郷	職員	他
4月21日	ほほえみ喫茶	ほほえみの郷	30	20	2	8	0
5月1日	花見レク	ほしみ緑地	9	5	—	4	0
7月9日	ほほえみ祭り	身障者福祉センター	31	17	2	8	4
8月1日	外出レク	ゼニバコテラス	4	2	—	2	0
8月18日	外出レク	ゼニバコテラス	3	1	—	2	0
9月3日	全道ろうあ者大会	岩見沢まなみーる	26	15	1	9	1
9月22日	敬老のお祝い会	ほほえみの郷	23	15	2	5	1
9月29日	月見レク	ほほえみ手稲	7	5	—	2	0
10月13日	外食レク①	札幌市内	4	2	—	2	0
10月16日	外食レク②	札幌市内	4	2	—	2	0
10月17日	外食レク③	札幌市内	4	2	—	2	0
11月15日	茶話会	ほほえみの郷	23	15	2	6	0
12月21日	Xmas会	ほほえみの郷	30	18	1	10	1
12月28日	餅つき	ほほえみ手稲	10	4	0	6	0

*他=家族、ボランティア、講師、住民、通訳者など

9. 職員体制（2024年3月31日現在） 計14名

常勤 7名	管理者 兼 介護職員 1名 計画作成担当者 1名 看護師 1名 介護職員 4名（ほほえみの郷生活支援員と兼務）
非常勤 7名	看護師 1名 介護職員 6名（ほほえみの郷生活支援員と兼務）

10. 今年度の成果・反省

- (1) 開所して満7年となった。利用者の入れ替わりや介護度の重度化が進み、支援内容も軽度なものから重度のものまで様々になってきた。職員個人の介護技術や介護に対する知識量が重要となるが、個人によって違いがある。研修は内部だけでは限界があるので、来年度は積極的な外部研修への参加を促したい。
- (2) 今年度は利用者1名が、入院先で逝去された。転院など含め長い入院生活を過ごし、いよいよ退院して最期を迎えるという段階での逝去だったので、職員一同ショックであった。今後は、転院の判断をどうするかなど、

ご家族への聞き取りを入念に行い、後悔のない最期を迎えられるような体制を作りたい。

(3) 職員採用と指導に悩んだ一年であった。欠勤が続く職員に対する指導およびシフト変更が特定の職員に集中してしまった。また、手話が未経験の職員に対する指導、フォローも不十分であった。採用時の評価や採用後のフォロー等、研修体制が今後の大きな課題である。

(4) 職員間のコミュニケーションに関して、今年度は比較的円滑にとれている。しかし、細部では足りない部分が多々あり、伝え方、受け取り方、「自分と異なる意見」に対する解釈など、コミュニケーションに関する研修の必要性が高い。

(5) Instagramの運用を本格的に開始し、一年が経過。ありがたいことにフォロワーは100人を突破。今後も細々とではあるが、継続して更新に努めたい。

IV 介護支援センター共通

1. 職員の資格保有状況（2024年3月31日現在）

	介護支援専門員	介護福祉士	初任者研修等	看護師 (准看護師含む)	無資格
常勤	2	5	3	1	0
非常勤	0	2	6	3	1
計	2	7	9	4	1

2. 広報

- ①毎月発行するH S K札聴紙へ活動状況を掲載、発信した。（計11回）
- ②各事業所合同の機関紙「さっぽろ聴覚障害者介護支援センター通信」を発行し、関係者に配布し情報発信を行なった。（計4回）
- ③ほほえみの郷・ほほえみ手稲はFacebook（フェイスブック）のページとInstagram（インスタグラム）、ほほえみ白石もFacebookページを活用して、日頃の情報配信に努めている。

3. その他

- ①職員の健康診断と特定診断を予定通り行なった。（年1回）

V さっぽろ聴覚障害者介護支援センター事業運営委員会

期間：2023年4月～2024年3月（年間3回開催）

時間：19：00～20：45

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	出席	回	月日	出席
1	2023年5月26日(金)	10名	2	2023年9月29日(金)	9名
3	2024年1月19日(金)	8名			

構成：団体等個人に運営委員を委嘱

札幌手話サークル連絡協議会：久保田昭人氏、中村博子氏

札幌手話通訳問題研究会：近間諒一氏、宮本ゆかり氏
 聴覚障害者支援センターほほえみ後援会：田村玲子氏、三澤美紀子氏
 （公社）札幌聴覚障害者協会：高嶋正博副理事長、森恵子理事
 担当職員：樋口あやこセンター長兼サ高住ほほえみの郷所長
 有山将大所長（小多機ほほえみ手稲）
 中村千恵所長（デイサービスほほえみ白石）
 内容：センター事業（デイサービス、サ高住、小規模多機能型居宅介護）
 の現況報告および意見交換を行った。

VI 「虐待防止委員会」および「身体拘束適正化委員会」開催
 （聴覚障害者支援センターほほえみと合同開催）

※詳細はP42を参照

【他1】相互扶助事業

I 支部・青年部・女性部・高齢部等における各種行事の実施

1. 支部事業

（1）専門部会議での会計部、組織部、情報・コミュニケーション部会議

開催：毎月第1火曜日19：00～20：30

月1回のうち実施した会議9回（5月、8月、1月は休み）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月 日	回	月 日
1	2023年4月4日	6	10月3日
2	6月6日	7	11月7日
3	7月4日	8	12月5日
4	8月1日	9	2024年2月6日
5	9月5日	10	3月5日

①札幌聴覚障害者協会会員数

	2023年4月1日	2024年3月31日	増減	備 考
正会員	372名	351名	-21	入会5名・退会26名 ※退会理由：市外転出、自己都合、2年分滞納ほか
賛助	74名	82名	+12	

②区別会員数

（単位：名）

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	市外	計
正	18	75	61	39	25	24	13	14	41	41		351
賛助	9	5	12	7	5	6	1	5	12	13	6	82

③年代・性別別会員数(正会員)

(単位:名)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	計
男性	1	9	10	17	29	45	64	18	3	196
女性	0	6	10	18	23	38	42	15	3	155

④HSK札幌聴障購読者数(有料購読者)

	2022年3月31日	2023年3月31日	2024年3月31日	増減
市内	108名	108名	81名	-27名
市外	25名	27名	30名	+3名
道外	7名	0名	0名	0名
合計	140名	135名	111名	-24名

⑤日本聴力障害新聞購読者数(札幌市内)

2022年3月31日	2023年3月31日	2024年3月31日	増減	※札幌協事務局での 新規購読 申込受付数:6名
204名	200名	206名	+6	

⑥季刊MIMI購読者数

2022年度	2023年度	増減
37名	31名	-6

【組織部】

専門部会議について

2023年5月8日より新型コロナウイルス感染症が2種から5種に移行したことから毎月1回に対面で開催した。専門部会議では、札幌協からの情報提供、意見交換をした。会員の退会者数は26名であることが分かり、その課題として各支部より意見交換しているところである。日聴紙の購読者数は前年度より多少ですが、増加傾向にあることが分かった。今後は会員のニーズを把握しながら、日聴紙の購読者数と会員拡大に繋げていきたい。

- (2) 区支部(中央・北・東・白石・厚別・豊平・清田・南・西・手稲)
が取り組む調査・研究や学習会等の活動を支援する事業

各区支部事業報告

区支部	行事事業名			
中央	8月 交流会		12月 忘年会	
北	9月 手話サークルとの手話交流会		12月 忘年会	
東	9月フロアカーリング交流会	11月東区手話まつり	12月合同クリスマス会中止	
白石	9月 秋の交流会 中止		12月 手話サークル&合同忘年会	
厚別	6月 春の親睦会	7月 区民祭り	10月 秋の親睦会	12月 忘年会
豊平	9月 アサヒビール園はまなす館交流会			12月 忘年会
清田	12月 忘年会			

南	11月 南区支部・南区手輪の会 合同創立40周年記念式典		3月 交流会		
西	9月 野外交交流会	12月 クリスマス会		2月 温泉交流会中止	
手稲	6月 支部交流会	9月 バスツアー 休み	9月17・18日 手稲神社祭餃子 出店	10月 ボウリング 交流会休み	12月 忘年会

2. 青年部、女性部、高齢部等の各部が取り組む調査・研究や学習会等の活動を支援する事業

(1) 青年部事業

①青年部事業報告

日 程	行事名	参加人数
2023年6月17日	ダベリ場① 『青年サロン』	20名
2023年9月16日	ダベリ場② 『ボウリング大会』	9名
2024年2月23日	ダベリ場③ 『クイズゲーム』	20名
2023年12月16日	クリスマス会	18名
2024年3月28日	第13回定期総会	9名

②青年部会議：年11回開催 会場：市身体障害者福祉センター

2024年度も昨年同様にコロナ禍に屈せず、様々な行事を開催してまいりました。特に「青年部とは何か？」に焦点を当て、プチ講演を通じて青年部の存在を広く知っていただく機会を設けました。また、一向に解消されない会員減少の課題に対処すべく、今年度からは会員拡大運動を開始しました。青年部の紹介に関するパンフレットや名刺を制作し、これを用いて非会員や関係団体にアプローチし、青年部について理解を深めていただく活動を展開しました。

さらに、青年部役員の連帯感を高めるために、ポロシャツや旗を制作いたしました。これらの活動を通じて、今後も青年部の盛り上げに努めてまいります。

(2) 女性部事業

①女性部事業報告

日 程	行事名	参加人数
2023年7月23日	創立50周年記念式典・祝賀会	式典115名 祝賀会74名
8月23日	第36回がん検診（札幌がん検診センター）	5名
11月5日	報告会	24名
	三部交流会	中止
2024年2月4日	第13回定期総会	20名

②女性部会議：10回開催

会場：市視聴覚障がい者情報センター、市社会福祉総合センター、市身体障害者福祉センター

③社会生活教室：2回「アイヌ刺繍でコースターを作ろう」
「モルック教室」

④機関誌：年1回発行

⑤創立50周年記念事業実行委員会：9回開催

会場：市視聴覚障がい者情報センター、市社会福祉総合センター

今年度大きな事業であった、創立50周年記念式典・祝賀会に多くの方々に参列していただき感謝申し上げます。昨年度から実行委員会を立ち上げ、毎月会議を開催してきました。がん検診も36回目を迎えました。早期発見でリスクが減少することから検診の必要性が大切です。今後も継続していきます。

(3) 高齢部事業

①高齢部事業報告

日付	事業名	人数
6月3日	「ろう者パークゴルフ共同交流会」 福移の杜コース・北区篠路町 高齢者の場合、36コースは体力的にしんどいので、18ホールを設置したら好評でした。	26名
7月20日	「エスコン・フィールド見学会」、老人クラブと共催。 見学にガイドがつけられず、展示内容も十分に理解できると言い難いが、新しい施設の雰囲気を楽しめたと思います。	24名
11月28日 2月18日	「高齢部・老人クラブ・ともの三者懇談会」 主な内容には【ともだより37号より抜粋】 「ともサロンあさぶ」再開。2022年7月～11月に延べ102名の参加で賑わっている。	三者から 4～10名 出席
役員会	4・6・8・10・12・2月開催	出席率 100%
老人 クラブ	1. 社会奉仕活動 2. 健康を推進する活動 3. 高齢者訪問・交流活動 4. 趣味・文化を高め合う活動 5. 後継者育成活動や会員の状況把握・広報活動 6. ニュースの毎月発行活動 7. 老人寺小屋。 3月15日現在、会員53名、賛助会員8名。退会19名、新入10名。	会員53名
総括すると	1.クラブは「組織」として高齢部規約のなかに編入している。高齢部は65歳以上からであるが、クラブは札幌市老人保険部の管轄に入り、概ね60歳以上とされている。市内以外のろう者も加入できる。 2.高齢部とクラブ兼任が多い。 3.そのため、事業はバランスを考えている。 4.規約に役員に、「新しくクラブから3名以内の役員を加えた。」 5.課題として、代議員空白区を無くすることがある。 清田区、厚別区、西区、豊平区、南区。 来年の代議員総会は、3月20日です。	

3. 会員慶弔福利制度事業

①会員に慶弔がある時は、会員からの申請に基づき随時手続き処理をした。

＜2023年度手続き件数＞

(単位：件)

①結婚祝金	0	⑤銀婚祝金	0
②入学祝金	0	⑥入院見舞金	6
③長寿祝金	4	⑦災害見舞金	0
④銅婚祝金	0	⑧死亡弔慰金	0
		合計	10

4. 新年交礼会事業

「2023年新年交礼会」を2024年1月6日（土）開催予定だったが、札幌市視聴覚障がい者情報センターでお酒を含めた飲食は認められていないため、会費3,000円程度で開催できる市内のホテルや貸会場などにあたりましたが、すべて5,000円以上のプランで、5,000円以下の会場はすでに先約があり、会場が取れなかったため中止。

II 聴覚障害者が参加する各種クラブ活動への助成等

1. 活動助成事業（文化系・スポーツ系・福祉系他）

以下のクラブに対し、活動助成金を支給した。

クラブ名	内容	代表者	会員数
＜文化系＞ 3クラブ			
デフ・フォトクラブ	写真	河村 明子	13名
札幌ろうあ劇団舞夢	劇団	高橋 浄	7名
札幌ろうあ将棋クラブ	将棋	中根 伸一	8名
＜スポーツ系＞ 6クラブ			
S.R.B.C(札幌ろうあボウリングクラブ)	ボウリング	池 正直	13名
サッポロデフバドミントンクラブ	バドミントン	佐藤 裕介	19名
札幌ろうあパークゴルフクラブ	パークゴルフ	菊地 恒雄	18名
札幌ろうあ者フロアカーリングクラブ	フロアカーリング	水除 弘子	12名
札幌デフ・カーリングクラブ	カーリング	一色 秀和	11名
北海道デフファイターズ	ソフトボール	原 理司	21名
＜性別・年齢別系＞ 1クラブ			
札幌ろうあ老人クラブ	老人親睦	守屋 弘之	53名
＜福祉系＞ 1クラブ			
重複聴覚障害者と高齢ろうあ者の住宅福祉を考える会「とも」		伊勢谷小枝子	120名

2. 札幌市視聴覚障がい者文化・スポーツクラブ等助成金交付事業（札幌市）

視聴覚障がい者の社会参加を推進し、その福祉向上を図るため、札幌市内において当該障がい者が自主的に運営する非営利の文化、スポーツクラブ、

サークル団体の活動に要する経費の一部を助成するものであり、クラブ代表者会議第11回定例総会において交付対象のクラブを決定した。

(年間3クラブ)

2023年度助成金交付クラブ：デフ・フォトグクラブ
パークゴルフクラブ
札幌ろうあ将棋クラブ

3. スポーツ大会開催事業・選手派遣等

(1) 全道ろうあ者夏季体育大会への競技団体参加費助成事業

「第55回全国ろうあ者体育大会in釧路・新得」

主催：公益社団法人北海道ろうあ連盟

主管：一般社団法人釧路聴力障害者協会・十勝聴力障害者協会

釧路会場：6月23日(金)～25日(日)・・・ボウリング、バドミントン、ソフトバレーボール

新得会場：7月1日(土)～2日(日)・・・パークゴルフ、フロアカーリング

<種目別参加人数(札幌)> ※重複参加有

種目	人数	種目	人数
ボウリング	12名	フロアカーリング	4名
バドミントン	10名	パークゴルフ	12名
		合計	38名

(2) 全国ろうあ者体育大会への選手派遣事業

「第57回全国ろうあ者体育大会in福井」

期日：2023年9月7日(木)～9月10日(日)

主催：一般財団法人全日本ろうあ連盟

主管：福井県ろうあ協会

第57回全国ろうあ者体育大会福井県実行委員会

札幌市から11名出場(卓球2名、ボウリング4名、バドミントン5名)

4. 全国障害者スポーツ大会聴覚障害者バレーボール競技北海道・東北地区予選大会への選手派遣補助金事業

2023年度は特別全国障害者スポーツ大会聴覚障害者バレーボール競技北海道・東北地区予選大会を山形県にて開催され、女子バレーチームが札幌市だけでは人数が足りないことから、札幌市・北海道合同チームとして出場した。

日時：2023年5月14日(日)

場所：山形県総合運動公園

参加：女子バレーボール 7名(うち札幌市4名)

5. クラブ代表者会議及び運営会議

期間：2023年4月～2024年3月(年6回会議開催)

会場：市体障害者福祉センターなど

対象：文化・スポーツクラブの代表者及び担当

(1) クラブ代表者会議

回	日程・時間	主な内容	クラブ出席
1	2023年4月7日（金）	定期総会	9クラブ
2	2023年7月14日（金）	クラブ助成金申請書提出、分 担金納金 クラブの報告など、	10クラブ
3	2024年1月20日（金）	クラブ助成金支給、事業報 告、各クラブより報告	9クラブ

(2) 運営会議

回	日程・時間	主な内容	出席人数
1	2023年6月16日（金）	今後の事業など	3名 ※旧理事含む
2	2023年12月18日（金） オンライン	各事業報告	4名
3	2024年3月22日（金）	総会の準備、会計について	3名

(3) クラブ代表者会議加入クラブ（2024年3月31日現在）

①文化系3クラブ（内2クラブ 復活：札幌ろうあ劇団舞夢
創立：札幌ろうあ将棋クラブ）

②文化系・スポーツ系10クラブ

内5クラブ休部：札幌聾史研究会、札幌デフ麻雀倶楽部、
札幌ろうソフトバレーボールクラブ、
男子バレーボールクラブ、札幌デフフットボールクラブ

【クラブ支援部】

- 1、コロナ禍の影響がなくなりスポーツ活動が活発になってきました。会員の高齢化が進む中、クラブ活動では年齢に関係なく活躍している会員が増えています。
- 2、カーリングクラブに2名冬季デフリンピック代表に選ばれたことは当協会のスポーツ活動の幅が広がってきました。
- 3、全国ろうあ者体育大会に参加する選手には20代の会員が増えています。今後、選手を引退したときに協会とのつながりをもつため青年部ともパイプを作って盛り上げてほしい。
- 4、現在、課題になっているが、スポーツ選手の引退の理由で協会会員を退会しないように呼びかけを協力していきたい。
その選手が所属している競技団体の役員及び仲間が普段より意思疎通を図って会員を続けてもらうことが重要になる。

Ⅲ 国際友好交流事業の実施

1. 中国瀋陽市聾人協会との友好交流行事の実施

中国瀋陽市聾人協会と連絡がとれなくなったため、札幌市国際部交流課と相談の結果、今後は実施しない。

2. 韓国ろうあ者協会大田広域市協会との友好交流事業の実施

期 間：2024年3月12日（火）～3月15日（金）

派遣者：団長（理事長）渋谷雄幸

団員（理事） 若浜ひろ子、野口和伸、東出昇

手話通訳（職員）金原さとみ

2021年度は新型コロナウイルスの影響で延期になり、2023年度に実施された。友好の大田広域市との交流にあたり、2023年度は札幌聴覚障害者協会から5名が派遣され大田（テジョン）広域市へ訪問した。

大田広域市の聴覚障害者事業の視察等を行い、札幌聴覚障害者協会の各事業で歴史、手話通訳派遣事業、支援センターほほえみ等の事業を紹介した。大田市の代表団は熱心に話を聞いており、この光景は深く忘れられない印象を受けた。大田市ろうあ協会の代表団と日本の文化や手話言語法などを話しながら友好を深めた。

日 時	スケジュール内容
3月12日（火）	新千歳国際空港発 ソウル仁川国際空港着 仁川国際空港～大田バスターミナル（高速バス） 大田（テジョン）広域市ろうあ協会主催の歓迎会
3月13日（水）	午前：雲甫の家（キム・ギチャン）見学 午後：大田広域市ろうあ協会 大徳区支部 大徳区手話通訳センター見学・紹介 旧忠清南道庁本館（大田近現代史展示館）見学
3月14日（木）	午前：大田広域市手音福祉館見学・紹介 札幌聴覚障害者協会の紹介 午後：済州島庁舎にある「I got everything」コーヒー ショップ見学・紹介 手話通訳センター地域支援本部にて友好交流記念 品交換式
3月15日（金）	大田バスターミナル～仁川国際空港（高速バス） ソウル仁川空港発 新千歳空港着

【他2】各種大会への協力及び支援事業

2023年度の事業なし。

【法人関係事業】

法人関係事業

I さっぽろ夏まつり福祉協賛ビアガーデン（協力）

麒麟ビール（株）様の協力のもと、夏まつり福祉協賛ビアガーデンのビール券を行政や企業、団体、各区支部、クラブ、会員等へ販売普及した。

期間：2023年7月21日（金）～8月16日（水）

会場：大通公園西7丁目（麒麟ビール）

販売枚数：3,700枚

II 総会・理事会・委員会・会議等の開催

1. 社員総会開催

「第13回定時社員総会」

期日：2023年6月4日（日）9：45～14：05

会場：市視聴覚障がい者情報センター 大会議室

主な議題：2022年度事業報告及び決算報告、2023年度事業計画及び予算、
定款一部変更、規則・規程一部改正、役員選任

代議員数：77名（開会時）出席：65名（内、委任4名含む）

（採決時）出席：64名（内、委任5名含む）

2. 理事会開催

1) 定時理事会

会場：札幌市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	時間	出席理事	出席監事
1	2023年4月15日	18：30～20：45	14名	2名
	4月16日	9：30～15：40	14名	2名
2	6月3日	18：30～19：25	16名	2名
3	6月25日	9：30～15：30	14名	2名
4	8月27日	9：30～16：30	16名	2名
5	10月22日	9：30～16：55	14名	2名
6	12月17日	9：30～16：10	15名	2名
7	2024年2月24日	18：30～20：40	14名	2名
	2月25日	9：30～16：00	15名	2名

2) 臨時理事会

回	月日	時間	出席理事	出席監事
1	4月30日	9：30～10：30	14名	2名
2	6月4日	14：05～14：30	16名	2名

※理事会出欠票は別表P82に記載

3) 書面

回	提案日	理事（同意）	監事（確認）
1	2023年11月14日	16名	2名

3. 三役会議

期間：2023年4月～2024年3月（月1回開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	人数	回	月日	人数
1	2023年4月5日(水)	4名	5	10月4日(水)	4名
2	5月10日(水)	中止	6	12月6日(水)	4名
3	6月14日(水)	4名	7	2024年2月7日(水)	4名
4	8月2日(水)	4名			

時間：19：00～21：00

出席：渋谷雄幸理事長、高嶋正博副理事長、中和彦副理事長、京野大樹常務理事兼事務局長

内容：理事会で確認された事項の取り組みについて経過報告、次回理事会の議題、報告とする事項の確認、整理をおこなった。

4. 経営会議

期間：2023年4月～2024年3月（月1回開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	人数	回	月日	人数
1	2023年4月26日(水)	7名	7	10月25日(水)	7名
2	5月24日(水)	8名	8	11月22日(水)	7名
3	6月28日(水)	6名	9	2024年1月24日(水)	7名
4	7月26日(水)	6名	10	2月28日(水)	7名
5	8月23日(水)	7名	11	3月27日(水)	6名
6	9月27日(水)	7名			

時間：19：00～21：00

出席：渋谷雄幸理事長、高嶋正博副理事長、中和彦副理事長、京野大樹常務理事兼事務局長、渋谷梯子コミュニケーション支援課長、秋井利江前聴覚障害者支援センター長、荒井友理聴覚障害者支援センター長、樋口あやこさっぽろ聴覚障害者介護支援センター長

内容：各事業の事項及び人事について事項の確認等を行った。

5. 職員会議・研修

日時：10月28日（土）10：00～15：00

会場：札幌市視聴覚障がい者情報センター

午前：講演「きこえない人々の暮らしを支えるためには」

講師 中西久美子 氏（社会福祉法人滋賀県聴覚障害者福祉協会常務理事・滋賀県立聴覚障害者センター所長）

午後：ワークショップ

6. 三団体懇談会

構成：札幌協・札幌連・札幌研

期間：2023年4月～2024年3月（月1回・第3火曜日開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	人数	回	月日	人数
1	2023年4月18日	7名	7	11月21日	7名
2	5月16日	9名	8	12月19日	6名
3	6月20日	6名	9	2024年1月16日	9名
4	7月18日	7名	10	2月20日	7名
5	9月19日	6名	11	3月19日	7名
6	10月17日	5名			

札幌協：中和彦副理事長・京野大樹常務理事兼事務局長・

福島太郎理事（～5月）・若浜ひろ子理事・越智理事（6月～）

札幌連：宮本英行会長・鍛冶由佳子副会長・菅原順子副会長・久保田昭人事務局長・田向美代子広報部長

札幌研：太田利実副運営委員長・渋谷梯子事務局次長、村田紀幸事業部次長、佐藤薫会計部次長、三田村好子

各団体の会員数、事業のお知らせ、活動状況報告、札幌市手話言語条例、研修センター後援会協力や取組みのお願いなど情報交換や日聴紙、札幌紙の購読者および手話研修センター後援会員の拡大の意見交換を深めている。

7. 一般社団法人札幌市障がい者スポーツ協会

① 2023（令和5）年度定時総会（書面決議・書面報告）

日時：5月17日（水）15：00～

場所：札幌市身体障害者福祉センター

出席：理事長 渋谷雄幸（（一社）札幌市障がい者スポーツ協会理事）
正会員団体代表の代理 常務理事 京野大樹

② 2023（令和5）年度理事会（2回）

日時：第1回 2023年4月26日（水）15：00～

第2回 2023年5月17日（水）15：45～

第3回 2024年3月19日（火）15：00～

出席：理事長 渋谷雄幸（（一社）札幌市障がい者スポーツ協会理事）

8. 札幌市障がい者によるまちづくりサポーター制度会議

日時：①2023年 6月21日（水） 15：00～16：45

②2023年10月11日（水） 15：00～16：45

③2023年12月20日（水） 15：00～16：45

2024年3月14日（木） 15：00～16：45（欠席）

場所：札幌市役所

委員：構成人数 11名（すべて札幌市民）

出席：金原浩之理事

内容：会議は対面とオンラインの両方で行われましたが、オンライン環境が十分でなかったため、コロナ禍の影響が薄れても会議形式に変更がなく、十分な意思疎通が行われなかったことがあり、追加で会議が開催されることもありました。

代表は終始オンラインでの参加であり、委員は札幌市役所の会議室を利用して参加しました。メインテーマは「行政の情報保障」で、障害者団体にアンケートを実施して統計を作成しましたが、時間が不足しており、内容的に十分な成果が得られなかったという状況でした。

9. 札幌市障害者社会参加推進協議会

日時：2023年9月13日(水)13:30～

場所：札幌市身体障害者福祉センター

出席：高嶋副理事長

内容：障害者週間記念事業について、障害者の社会参加推進に向けた活動事例について、情報交換

10. 障がい者コミュニケーション促進委員会

日時：2024年2月16日(金)14:00～

場所：札幌市視聴覚障がい者情報センター

出席：高嶋正博副理事長

出席団体：札幌手話通訳問題研究会、札幌盲ろう者福祉協会、札幌市視覚障害者福祉協会、札幌市手をつなぐ育成会、札幌市中途失聴・難聴者協会、北海道自閉症協会札幌分会ポプラ会、札幌学院大学、札幌市身体障害者福祉協会、札幌市精神障害者家族連合会、日本ALS協会北海道支部、要約筆記通訳者サークルふきのとう

11. その他

(1) 北海道札幌聾学校 学校評議員会

趣旨：校長の求めに応じて、学校の教育目標及び計画、教育活動の実施、学校と地域との連携の進め方その他、校長が行う学校運営に関し、一人一人がそれぞれ責任において、校長に対し意見を述べる。

日時：第1回 2023年6月29日(木) 10:00～12:00

第2回 2023年10月24日(火) 10:00～12:00

第3回 2024年2月6日(火) 10:00～12:00

場所：北海道札幌聾学校

出席：公益社団法人札幌聴覚障害者協会理事長 渋谷雄幸

北区北地区民生委員・児童委員協議会副会長 渥美健治

北24条商店街振興組合理事長 小泉詔信

札幌聾学校同窓会長 杉本五郎

北海道札幌聾学校PTA会長 只石亜由美

札幌医科大学医学部教授 高野賢一

放課後デイサービスふくろう管理者 船山大介

北海道警察札幌方面北警察署生活安全課長 佐藤信太郎

学校職員：校長 四木定宏

(2) 慶弔事業

女性部創立50周年記念式典・祝賀会

日程：7月23日(日) 会場：札幌パークホテル

出席：渋谷理事長

南区創立40周年記念事業

日程：11月23日（木・祝） 会場：南区民センター

出席：渋谷理事長

苫小牧聴力障害者協会・苫小牧手話の会創立50周年記念講演・祝賀会

日程：11月26日（日） 会場：グランドホテルニュー王子

出席：中和彦副理事長

(3) 札幌市表敬訪問

①サッカー日本代表選手の表敬訪問

内容：世界デフサッカー選手権大会で日本が準優勝したことの報告

日時：2023年11月14日（月）

対象者：大西諒選手（札幌市出身・埼玉県在住）

②カーリング日本代表の表敬訪問

内容：第20回冬季デフリンピック競技大会に出場するための報告

日時：2024年2月26日（月）

対象者：金田篤選手（北区）、宮村章弘選手（清田区）

(4) 職業説明会

職員募集にあたり、各事業の説明、グループ面談

日程：10月6日（金）18：30～

会場：札幌市視聴覚障がい者情報センター

参加者：25名

(5) 北海道庁法人団体課 立入検査

運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査の実施

日時：2024年1月23日（火）13：30～16：50

場所：札幌市視聴覚障がい者情報センター 試写室

検査職員：総務部教育・法人局法人団体課主査 山本博亮
主任 渡邊弓子

立会人：常務理事兼事務局長 京野大樹

税理士法人さくら総合会計

公益法人・社会福祉法人部 部長 山本剛史

Ⅲ 人事(採用・異動・退職)報告

【2023年4月1日～2024年3月31日】

<p>法人事務局</p> <p>さとうなおゆき 佐藤尚行 (2023年8月31日付退職)</p> <p>きよはらまみ 清原麻美 (2023年10月1日付採用 法人事務局 第1種臨時職員)</p> <p>こうむらさき 幸村咲 (2023年11月13日付採用 法人事務局 常勤嘱託職員)</p>
<p>コミュニケーション支援課</p> <p>なかのけいこ 中野恵子 (2023年4月1日付採用 コミュニケーション支援課 正職員) (2023年8月10日付退職)</p> <p>たがみあきこ 田上晶子 (2023年7月31日付退職)</p>
<p>聴覚障害者支援センターほほえみ</p> <p>おおつか 大塚さおり (2023年4月1日付採用 グループホーム・非常勤嘱託職員)</p> <p>あらいゆり 荒井友理 (2023年4月1日付身分変更 常勤嘱託職員→正職員) (2023年4月1日付任命 センター長兼ほほえみカフェ店长)</p> <p>おきたまきこ 沖田真紀子 (2023年4月1日付身分変更 常勤嘱託職員→正職員) (2023年4月1日付任命 ほほえみ作業所所長)</p> <p>えびなおみ 蝦名尚美 (2023年4月1日付身分変更 常勤嘱託職員→正職員)</p> <p>ひろせゆきえ 廣瀬由紀江 (2023年4月1日付任命 地域活動支援センター主査)</p> <p>いしかわこういち 石川幸一 (2023年4月1日付任命 ほほえみ作業所主査)</p> <p>あきいりえ 秋井利江 (2023年4月1日付解任 センター長)</p> <p>かしわざきひろこ 柏崎弘子 (2023年4月1日付解任 ほほえみ作業所所長)</p> <p>あはやゆり 荒谷友理 (2023年5月31日付退職)</p> <p>なんぶまゆみ 南部真祐美 (2023年6月29日付退職)</p> <p>まつしたなおみ 松下直美 (2023年7月1日付採用 グループホーム・非常勤嘱託職員) (2024年2月10日付退職)</p> <p>おおみさとる 逢見 覚 (2023年11月10日付退職)</p> <p>たきもときよみ 滝本清水 (2023年11月30日付退職)</p> <p>さとうなおゆき 佐藤尚行 (2024年2月1日付採用 ほほえみ作業所・非常勤嘱託職員)</p> <p>しみずひさこ 清水一佐子 (2024年2月1日付採用 グループホーム・非常勤嘱託職員)</p>
<p>さっぽろ聴覚障害者介護支援センター</p> <p>よしだ 吉田みどり (2023年4月1日付採用 ほほえみ手稲・正職員) (2023年5月25日付退職)</p> <p>あいだひさえ 会田妃佐江 (2023年5月26日付身分変更 非常勤嘱託職員→正職員)</p> <p>ながしまちひさ 長島千尚 (2023年6月22日付退職)</p> <p>おおたきみこ 太田貴美子 (2023年7月4日付採用 ほほえみ手稲・非常勤嘱託職員)</p> <p>おおしま 大島まゆみ (2023年8月1日付採用 ほほえみ手稲・非常勤嘱託職員)</p> <p>すがわらふじえ 菅原藤枝 (2023年9月10日付退職)</p> <p>おおぎだゆか 扇田夕佳 (2024年2月20日付採用 ほほえみ手稲・非常勤嘱託職員)</p>

※職員等体制について

(102名(常勤・アルバイト・非常勤契約含む) 2024年4月1日現在)

- ① 法人事務局(手話普及事業・情報支援事業・電話リレーサービス提供事業)
(20名)
事務局長1名、職員11名、アルバイト9名、計19名(正職員3名、定年再任用常勤嘱託2名、常勤嘱託4名、臨時職員1名、非常勤嘱託2名、アルバイト9名)
聴能言語訓練指導員(非常勤契約) 1名
- ② コミュニケーション支援課(手話通訳派遣事業係(医療手話通訳者派遣事業含む)、養成事業係) (25名)
課長1名、係長2名、職員11名、アルバイト11名 計25名(定年再任用正職員1名、正職員2名、定年再任用常勤嘱託1名、常勤嘱託1名、非常勤嘱託9名、アルバイト11名)
- ③ 聴覚障害者支援センターほほえみ (29名)
 - ㊦聴覚障害者地域活動支援センター(ほほえみ西)
所長1名、職員2名 計3名(常勤嘱託2名、非常勤嘱託1名)
 - ㊧ほほえみ作業所 就労継続支援B型事業(ほほえみ作業所)
所長1名、職員5名、アルバイト1名 計7名(正職員1名、常勤嘱託1名、非常勤嘱託4名、アルバイト1名)
 - ㊨ほほえみカフェ(就労継続支援B型事業(ほほえみカフェ、菓子工房ほほえみ))
センター長1名、職員7名、アルバイト3名 計11名(正職員1名、定年再任用常勤嘱託2名、常勤嘱託1名、非常勤嘱託4名、アルバイト3名)
 - ㊩共同生活援助事業(グループホームよつば・さくら)
職員5名、アルバイト3名 計8名(正職員1名、非常勤嘱託4名、アルバイト3名)
- ④ さっぽろ聴覚障害者介護支援センター(28名)
 - ㊦小規模多機能型居宅介護ほほえみ手稲
所長1名、職員12名 計13名(正職員4名、常勤嘱託2名、非常勤嘱託7名)
 - ㊧サービス付き高齢者向け住宅ほほえみの郷
センター長・所長(兼務) 1名、アルバイト7名 計8名(正職員1名、アルバイト7名)
 - ㊨ほほえみの郷・ほほえみ手稲
施設長1名 計1名(常勤役員1名)
 - ㊩デイサービスほほえみ白石
所長1名 職員5名 計6名(正職員2名、常勤嘱託1名、非常勤嘱託3名)

別表【理事会出欠表】

役職	氏名	1		臨時	2	3	4	5	6	7	
		4/ 15	4/ 16	4/ 30	6/ 3	6/ 25	8/ 27	10/ 22	12/ 17	2/ 24	2/ 25
理事長	渋谷 雄幸	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
副理事長	高嶋 正博	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
副理事長	中 和彦	出	出	出	出	欠	出	出	出	出	出
常務理事	京野 大樹	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	福島 太郎	出	出	出	出	—	—	—	—	—	—
理事	越智 誠	出	出	欠	出	出	出	出	出	出	出
理事	若浜ひろ子	出	欠	欠	出	欠	出※	出	出	欠	欠
理事	森 恵子	欠	出	出	出	出	出	出	出	欠	出
理事	佐藤 正昭	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	宮内 博子	出	出	出	出	出	出	出	出※	出	出
理事	金原 浩之	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	泉 隆行	—	—	—	—	出	出	出	出	出	出
理事	福岡 静枝	出	出	出	出	出	出	欠	欠	出	出
理事	野口 和伸	欠	欠	出	出	出	出	出	出	出	出※
理事	佐藤 尚行	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	新田 由香	出	出	出	出	出	出	欠	出	出	出
理事	佐藤 英治	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
監事	東出 昇	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
監事	泉 隆行	出	出	出	出	—	—	—	—	—	—
監事	福島 太郎	—	—	—	—	出	出	出	出	出	出

出：出席・欠：欠席・※の印は遅参・早退